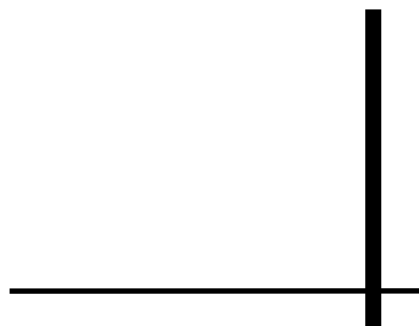


令和6年度 福島市地域学校協働本部事業
実施報告書

福島市教育委員会

令和7年3月



目 次

NO	項 目	ページ
I	学校の事業実施状況等	1
II	学校支援ボランティアの支援・活動状況、事業評価	3
III	事業の成果・課題等	4
IV	考 察	5
令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価		
1	中央学習センター	6
2	三河台学習センター	8
3	渡利学習センター	10
4	杉妻学習センター	12
5	蓬萊学習センター	14
6	清水学習センター	16
7	もちずり学習センター	18
8	北信学習センター	20
9	吉井田学習センター	22
10	西学習センター	24
11	信陵学習センター	26
12	飯坂学習センター	28
13	松川学習センター	32
14	信夫学習センター	34
15	吾妻学習センター	36
16	飯野学習センター	38

I 学校の事業実施状況等

※ 学校関係者評価アンケートより（全小・中・特別支援学校対象、回収率：100%）

1, 事業実施状況

○ 学校支援活動、地域学校協働活動を実施した学校数等

校種	小学校	中学校
校数	43	20
%	100.0%	100.0%

(1) 学校のコーディネートによる学校支援活動、地域学校協働活動(学校で対応した活動)

① 実施した学校数等

校種	小学校	中学校
校数	43	16
%	100.0%	80.0%

② 支援を受けた教科・活動、取り組んだ活動等

〈小学校〉

教科等	国語	社会	算数	生活	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	総合
校数	8	12	3	27	3	1	7	12	7	0	37

教科等	道徳	学級活動	児童会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献
校数	1	3	0	1	4	0	15	5	4	9	3

教科等	地域行事	その他
校数	4	1

その他: 学生による学校支援、ふくしんマネースクール、福島FC出前講座、租税教室、等

〈中学校〉

教科等	国語	社会	数学	生活	理科	音楽	美術	技術家庭	保健体育	英語	総合
校数	0	0	0	1	0	1	0	1	2	1	6

教科等	道徳	学級活動	生徒会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献
校数	0	1	0	0	2	1	0	0	1	0	7

教科等	地域行事	その他
校数	2	5

その他 国際交流活動、本校卒業の大学生や地域の大学生による夏休み学習会、サポートルームでの生徒への寄り添い、等

(2) 地域本部(学習センター)のコーディネートによる学校支援活動、地域学校協働活動

① 実施した学校数等

校種	小学校	中学校
校数	36	18
%	83.7%	90.0%

② 支援を受けた教科・活動、取り組んだ活動等

〈小学校〉

教科等	国語	社会	算数	生活	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語	総合
校数	2	2	1	15	2	4	2	17	2	0	11

教科等	道徳	学級活動	児童会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献
校数	3	0	1	3	2	0	2	0	1	1	6

教科等	地域行事	その他
校数	4	6

その他 地区文化祭に児童作品を出品、集団生活に対する寄り添い・支援・見守り、等

〈中学校〉

教科等	国語	社会	数学	生活	理科	音楽	美術	技術家庭	保健体育	外国語	総合
校数	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	7

教科等	道徳	学級活動	生徒会	クラブ活動	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献
校数	0	0	0	0	3	2	1	0	2	1	5

教科等	地域行事	その他
校数	5	2

その他 中学2年生職場体験、学習支援補助(寄り添い)

2, 事業実施の成果等 ※ (+)4~1(-) 未回答あり

(1)事業の有効性

「本事業を活用することで授業や活動の内容が充実しましたか。」

〈小学校〉

	4	3	2	1
校数	37	4	0	0
%	86.0%	9.3%	0.0%	0.0%

〈中学校〉

	4	3	2	1
校数	14	5	0	0
%	70.0%	25.0%	0.0%	0.0%

(2)児童生徒の変容

「地域人材の活用によって児童・生徒に学習意欲の向上が見られましたか。」

〈小学校〉

	4	3	2	1
校数	32	8	0	0
%	74.4%	18.6%	0.0%	0.0%

〈中学校〉

	4	3	2	1
校数	10	7	1	1
%	50.0%	35.0%	5.0%	5.0%

(3)教職員への周知

「教職員に対し本事業の趣旨、内容、方法が周知されましたか。」

〈小学校〉

	4	3	2	1
校数	22	17	2	0
%	51.2%	39.5%	4.7%	0.0%

〈中学校〉

	4	3	2	1
校数	10	7	2	0
%	50.0%	35.0%	10.0%	0.0%

(4)教職員の意識

「教職員に地域の教育力を活用することへの意識が高まりましたか。」

〈小学校〉

	4	3	2	1
校数	22	18	0	0
%	51.2%	41.9%	0.0%	0.0%

〈中学校〉

	4	3	2	1
校数	9	9	1	0
%	45.0%	45.0%	5.0%	0.0%

(5)負担軽減

「本事業の活用によって教職員の負担軽減が図られましたか。」

〈小学校〉

	4	3	2	1
校数	26	14	1	0
%	60.5%	32.6%	2.3%	0.0%

〈中学校〉

	4	3	2	1
校数	4	8	6	1
%	20.0%	40.0%	30.0%	5.0%

(6)支援内容

「支援の内容は学校が希望したものに合っていましたか。」

〈小学校〉

	4	3	2	1
校数	31	8	0	0
%	72.1%	18.6%	0.0%	0.0%

〈中学校〉

	4	3	2	1
校数	11	7	1	0
%	55.0%	35.0%	5.0%	0.0%

(7)地域との連携

「学校教育活動や地域行事について地域との連携、信頼関係が築かれていましたか。」

〈小学校〉

	4	3	2	1
校数	25	15	0	0
%	58.1%	34.9%	0.0%	0.0%

〈中学校〉

	4	3	2	1
校数	10	8	1	0
%	50.0%	40.0%	5.0%	0.0%

Ⅱ 学校支援ボランティアの支援・活動状況、事業評価

※ 学校支援ボランティアアンケートより(97名抽出、回収率:80.4%)

性別	男性	女性	年代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
人数	16	60	人数	1	0	2	26	34	14
%	21.1%	78.9%	%	1.3%	0.0%	2.6%	33.8%	44.2%	18.2%

(無回答あり)

1, 支援を行った教科、学習活動等

教科等	国語	社会	算数・数学	生活	理科	音楽	図工・美術	家庭・技術	体育・保体	英語・外国語	総合
校数	1	4	2	2	1	2	2	31	0	1	10

教科等	道徳	学級活動	児童・生徒会	クラブ	学校行事	部活動	読み聞かせ	図書関係	環境整備	安全確保	地域貢献
校数	1	3	0	1	9	0	5	0	1	8	7

教科等	地域行事	その他
校数	5	23

その他	保護者会時等の児童の見守り、田植え・収穫祭・しめ縄作り・団子さし、野菜作り、吊るしびな作り、昔遊び等での世代交流活動、小学校1年生の下校サポート、町探検付き添い、囲碁、生け花、児童への寄り添い、等
-----	--

2, 事業評価

(1) 充実感

「学校支援ボランティアの活動にあなたの知識・経験が生かされましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	40	32	1	0
%	54.8%	43.8%	1.4%	0.0%

(2) 自己有用感

「学校支援ボランティアの活動内容は子どもたちのためになっていると感じましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	50	20	2	0
%	69.4%	27.8%	2.8%	0.0%

(3) 学校に対するイメージ

「学校支援ボランティアの活動を通し児童生徒とふれあい、学校に対しての親しみを感しましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	68	5	0	3
%	89.5%	6.6%	0.0%	3.9%

(4) 学校教育への理解

「学校支援ボランティアの活動を通し、授業内容や子どもたちの学ぶ様子などがわかりましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	62	12	1	0
%	82.7%	16.0%	1.3%	0.0%

(5) 地域の教育力

「地域の方々はいろいろな場面で子どもたちに対して積極的に関わっていると思われませんか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	30	25	17	0
%	41.7%	34.7%	23.6%	0.0%

(6) ボランティアに対する意欲

「これからも学校支援ボランティアの活動を続けたいですか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	56	17	0	0
%	76.7%	23.3%	0.0%	0.0%

(7) 運営方法

「事前の打ち合わせ等は、行われましたか。」

	はい	概ね	あまり	まったく
人数	39	22	9	3
%	53.4%	30.1%	12.3%	4.1%

3, 活動の感想や今後に向けての意見等

○ 高学年のミシン学級の支援、保護者会のおりに親の帰りを待つ児童の見守り、読み聞かせ、紙芝居などを行いました。必要とされた時、少しでもお手伝いが出来ればと考えています。

○ ミシンの調整に伺った際、担当の先生との打ち合わせをしたことで授業がスムーズに行われ大変良かったと思います。

○ 町探索ではボランティアの方2名を入れ、1グループ4名～5名児童を往復安全に届ける事が出来ました。後日、子ども達を書いたお礼文が届き、大変感動し、やってよかったと思いました。先生方の素晴らしい指導に感謝申し上げます。

○ 高齢者ですが、役に立てる事があればこれからも参加したいと思います。事前打ち合わせ等もきめ細かい指導をしていただきました。

○ 学習センターの方々の御協力やアドバイスをいただき対応することが出来ました。子ども達のために役に立ちたいという思いと学習センターご担当者・学校ご担当者に感謝の気持ちであります

○ 3校に伺いました。それぞれの学校の様子が伺えて、考える事もありましたが、私達は、あくまでもボランティアだという気持ちで活動しました。学校が主体である、という事を学校側に望みたいとも思う場面もありましたが、子ども達の笑顔が励みとなりました。やりがいがあります。

○ 生け花のボランティア活動を引き受けました。小学生の生き生きとした姿に私達も元気をいただきました。思いのほか喜んでくれ、伝統文化の華道を体験してもらえたこと、嬉しく思いました。

○ サポートルーム(寄り添い)では、子ども達が少しずつ学校活動に慣れて行く様子も見られて、成長も感じています。

Ⅲ 事業の成果・課題等

※ 事業期末面談報告より

○ 人との関わりを重視して教育活動を展開している本校にとって、本事業の価値は大変高い。しかし、地域人材を十分に生かしきれていないという学校側の課題もある

○ 教育効果が高まった。学校の思いや願いを理解し、指導をいただいている。

○ 直前の依頼が多くなならないよう、計画的な依頼等をお願い出来るようにしていきたい。

○ 授業に関わる依頼は、保護者中心にお願いするようにしている。

○ 学習センターの対応により、地域人材を活用した教育活動がスムーズに行われている。

○ 学校でボランティア団体を確保し、そこで対応出来ない場合に学習センターに協力を依頼している。

○ この事業について、職員会議で年3回、説明・確認等を行い、教職員への周知を図った。

○ 地域の方に連携・協力をいただくことで児童の学びに深まり、広がりが生まれ、効果的な教育活動に結び付くことを教員が実感できている。

○ 入学直後の1年生への支援は大変ありがたかった。学校生活へ早くなじむことに結び付いた。

○ 児童支援ボランティア(寄り添い等)の成果は大きく、落ち着いて学習に取り組む姿が見られた。

○ サポートルームでの寄り添いは大変有効に機能している。

○ 今年度は小学校と連携してあいさつ運動を行うことが出来た。

○ 中学生とのあいさつ運動をとおして、地区の方々とのふれあいととも、中学生があこがれの存在となった。

- 地区文化祭への参加(発表・展示)は生徒の意欲向上に結び付いた。
- 学習センターに児童作品を展示することで、子ども達の様子を地域の方々に知らせることが出来た。
- 地区文化祭での生徒の作品展示(書写・絵画等)を見て、感動している姿が見られた。
- あいさつ運動、地区文化祭への協力等をとおして地域との交流が広まってきている。
- 地区文化祭の準備等、地域の中で役立つ生徒に育てて行きたい。今後も中学生に出来ることがあれば積極的に協力していきたい。
- 地区文化祭で発表の場を確保していただいたことが子どもたちの励みになった。
- 学習センターで吹奏楽部のコンサートを開催したことにより、多くの皆さんに聞いていただけたことが励みとなった。今後も継続し、準備や運営にも生徒が関わるようにしたい。
- 地区文化祭で合奏部の発表を地域の方々が楽しみにしていることが分かった。継続して行きたい。
- 地区文化祭での吹奏楽部、合唱部の発表は、生徒たちの自信につながっている。
- 地区文化祭で、中学生による準備協力に対し、地区の方々から感謝の声が寄せられた。
- 学校行事や体験活動を全て教職員と保護者でやっせしめようと考えがちであったが、地域人材の活用により幅を広げることが出来ると感じている。中学生が地域で活動できる機会を増やしていきたい。

IV 考 察

- 全ての小・中・特別支援学校で、学校のコーディネート(対応)、または地域本部(学習センター)のコーディネートのいずれかによる地域学校協働活動が進められている。このことから、本事業の定着が図られており、それぞれの学校、地域、校種の状況に応じた学校支援活動・地域学校協働活動が推進されていると考えられる。
- 学校アンケートから、この事業が各学校での授業や学習活動の充実に結び付いていることが確認できる。小学校と中学校では指導の専門性等によるものと考えられる数値も見られるが、小・中学生による地域行事への参加、協力や地区でのあいさつ運動への取組など、学校が地域へ出向いての活動した事例が増加したことは今年度の傾向である。今後もぜひ継続、発展させて行きたい取り組みである。
一方、教職員へ事業を周知すること、地域人材活用の意識を高めること、教職員の負担軽減を図ることについては、より一層の啓発・対応が必要であり、今後も各学校との期首面談、期末面談、事業視察の機会等によりその対応を図っていきたい。
- 学校支援ボランティアのアンケートから、ボランティア活動に対し大変意欲的であること、活動をとおして学校や子ども達を理解出来たこと、ボランティアへの意欲が高まっていることが言える。今後より一層ボランティアの自己有用感を高めること、そのために活用のねらい(学校の求め)を明確にするとともに、打ち合わせについての受け止め方に個人差は見られるが、それを事前の打ち合わせでしっかりと伝えることが必要と考えられる。また、各学校での対応と共に地域本部(学習センター)としてもそのサポートを行うようにしながら、「学校支援ボランティア研修会」等の開催により、学校支援ボランティアの広がりとその役割等についての啓発を図っていくようにしたい。

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.1	中央学習センター
対象校	福島第一小学校・福島第二小学校・福島第三小学校・福島第四小学校・福島第二中学校・福島第四中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一小学校	5月14日～2月18日 (月1回1学年)	1年 国語科 11名 14:00～14:45 2年 国語科 15名 14:00～14:45 3年 国語科 11名 14:00～14:45 さびたきお話の会による読み聞かせをしよう。	3	27	児童の発達段階に応じて、絵本などの読み聞かせをしていただいた。
2		11月21日	3年 社会科 11名 10:30～11:15 地域消防団としての取り組みや現場で役立つ防災グッズなどについて話をしていた。	6	6	地域のために取り組んでいる消防団の方々の思いや実際の活動について話を聞くことで、理解をより深めることができた。
3		12月10日	5・6年 音楽科 5年16名10:30～11:15 6年13名11:25～12:10 三味線と太鼓の演奏を聴いたり三味線の歴史の話を聞いたりした	6	6	演奏を聴いたり歴史を知ったりするだけでなく、二人一組もしくは二人で一対で三味線の演奏体験を十分にすることができた。
4		1月20日	4年 総合的な学習の時間 20名 10:30～12:00 福島市の郷土料理であるいかにんじん作りについて助言をしよう。	1	1	地域の方に福島市の郷土料理についての話や作り方のポイントを教えていただくことで、主体的に関わりながら活動できた。
5		2月6日	3年 総合的な学習の時間 11名 10:30～11:15 小鳥の森レンジャーの方にピトーブやピトーブでの活動について話をしていた。	1	1	専門的な立場の方からの話を聞くことで、これまでの活動を振り返り、新たな探究意欲を高めるきっかけとなった。
6	福島第二小学校	4月9日	1～6学年・12学級、子どもの安全確保協議及び、第二地区青少年健全育成推進会の皆さんに交通教室においていただき、危険箇所についての講話や通学路の歩き方についての確認。	5	5	通学路における危険箇所の把握や交差点での横断の仕方、歩道の歩き方を具体的に教えていただき、児童の安全への意識が高まった。
7		7月～3月	学校図書ボランティアの皆さんによる学校図書室の環境整備。	8	30	季節にあった掲示物の作成や掲示、配架作業を行っていた。児童にとって親しみやすい図書室にすることができた。
8		7月～3月	1～3学年・4学級、学校図書ボランティアの皆さんによる月2回程度の読み聞かせ。	7	56	短い話を中心に読み聞かせを行っていただき、たくさんの方に親しむことができた。
9		7月12日	1、2学年・2学級、第二地区青少年健全育成推進会の皆さんと一緒に花苗の定植活動。	6	6	花苗を植えたボランティアを学区の公共施設に届け、地域の環境美化を推進することができた。
10		6月25日 11月12日	1、2学年・2学級、学級の保護者の皆さんによる学区の公園見学、町探検時の安全見守り活動。	12	12	児童と一緒に行動していただき、安全面での目配り気配りをしていただき、交差点の横断や公園遊び等で安全に活動することができた。
11		11月～12月	保護者ボランティアの皆さんによる学校周辺の落ち葉清掃活動。	9	34	学校周辺の落ち葉清掃をしていただき、地域の環境美化を推進することができた。
12	福島第三小学校	4月～3月	読み聞かせ(全学年・16学級・朝の読書タイムに毎週4学級ずつ絵本の読み聞かせを行った)	7	144	学年や児童の実態、授業の学習の内容、季節や行事に合わせた内容の読み聞かせを行っていただき、児童が毎回食い入るように話に聞き入っていた。
13		5月～12月	学習支援(全学年・16学級・算数科の学力向上に向けた取り組みの時間「くんぐんタイム」に、習熟の問題の〇付け等を行った)	16	72	児童が即座に〇をつけてもらえたので学習効果が上がった。
14		11月19日	音楽祭の楽器運搬のトラックの積み降ろし。ステージのマーキング作業	7	15	教師・児童だけでできない作業なので、大変助かった。
15		5月～12月	生活科、総合的な学習の時間の校外学習の見守り	25	25	児童の志向に合わせて班別の活動を行ったので、校外での様子を見守っていただき、児童が安心して活動することができた。
16	福島第四小学校	5月30日 6月10・11日	全学年・6学級「書写」たなほた展」作品出品のための書写指導(丹治英郎様)	1	3	一人ひとり個別に指導いただき、技能の習得と意欲の向上、また、教職員の指導力の向上を図ることができた。
17		6月10日	第3・4・5学年・2学級「学級活動」好き嫌いをなくそう・朝ご飯を食べよう」栄養教諭による食育指導	1	2	食の大切さを自分事として考えることができた。
18		6月12日	第1・2学年・2学級「学級活動」バランスよく食べよう」栄養教諭による食育指導	1	2	食の大切さを自分事として考えることができた。
19		6月12日	第3学年・1学級「音楽科」リコーダーに親しもう」リコーダー奏者によるリコーダー演奏の仕方についての説明	1	1	音の出し方を楽しく学びながら、演奏技能の向上意欲を高めることができた。
20		6月17日	全学年・6学級「体育科」ボールゲーム」サッカー教室(福島ユナイテッドFC)	2	2	サッカーの基本的な運動技能の反復練習に取り組み、ゲームの楽しさを味わうことができた。
21		6月25日	第6学年・1学級「社会科」税金教室」税金についての説明	1	1	税金についての詳しい説明を聞いた。DVDを視聴したりすることで、税についての理解を深めることができた。
22		6月14日・28日	第2学年・1学級「生活科」どきどきわくわくおたけだんげん」菓子屋・信夫通り交番・金物店・米屋・飲食店・総菜屋にて働く人々と	2	2	地域にある場所を見学し、働く人や仕事についての理解を深めることができた。
23		7月11日	第3学年・1学級「社会科」農家の仕事」果樹農家の見学	1	1	実際にリンゴを栽培している農家を訪ねることにより、その工夫や努力、思いや願いを知ることができた。
24		8月23日	第1・2学年・2学級「生活科」育てた野菜をおいしく味わおう」キューピーマヨネーズ教室	1	1	マヨネーズを手作りして、育てたキュウリと一緒においしく味わうことができた。
25		8月27日	第4学年・1学級「社会科」住みよいらしくをつくる」下水道公社による出前授業	5	5	下水道の仕組みについて、視覚に訴える教材を見ながら理解を深めることができた。
26	9月10日	第1学年・1学級「音楽科」どれみどなかよくなろう」鍵盤ハーモニカ講習会	1	1	鍵盤ハーモニカの音の出し方を楽しく学びながら、演奏したいという意欲を高めることができた。	
27	10月15日	第4・5・6学年・3学級「ものづくりクラブ」工場見学出前講座	1	1	木製の大きな恐竜バズルの組み立て体験を通して、木材の良さを学ぶことができた。	
28	10月23日	全学年・6学級「体育科」走の運動遊び・走の運動」陸上指導者による走り方の指導	1	3	正しい距離を走る時の走り方のコツについての理解を深めることができた。	
29	10月23日	第1・2学年・2学級「学級活動」ほうしゃせんからみをまもろう」環境創造プラザ出前授業	2	2	低学年の実態に合った視覚教材を通して、放射線についての理解を深めることができた。	
30	10月28日	全学年・6学級「音楽科」和太鼓に親しもう」(遠藤元気様)	1	1	和太鼓の演奏を間近で聴いたり、体を使って表現したりすることで、和楽器の良さに親しむことができた。	
31	11月1日	第6学年・1学級「総合的な学習の時間」調べたことをまとめよう」福島民報社出前講座	1	1	情報の取捨選択、記事の書き方など、まとめ方の工夫についての理解を深めることができた。	
32	11月13日	第3学年・1学級「総合的な学習の時間」名人ってどんな人?」名人になるまでの経緯・名人としての思いや考えについてお話をいただく。(遠藤元気様)	1	1	和太鼓名人となるまでの努力や苦労など直接お話を聞くことで、名人と呼ばれる人の思いや願いについて理解を深めることができた。	
33	11月18日	第6学年・1学級「家庭科」1食分の献立を考えよう」栄養教諭による食育指導	1	1	栄養のバランスを考えながら、1食分の献立を作成することができた。	
34	12月9日・10日・11日	全学年・6学級「書写」書きぞめ展」作品出品のための書写指導(丹治英郎様)	1	3	一人ひとり個別に指導いただき、技能の習得と意欲の向上、また、教職員の指導力の向上を図ることができた。	

35	福島第四小学校	1月16日	第5学年・1学級・総合的な学習の時間「つくります！あなたの安全守り隊」防災出前授業	2	2	具体的な説明を聞きながら、身近な防災について理解を深めることができた。
36		2月5日	第6学年・1学級・体育科「薬物乱用の害と健康」薬物乱用防止教室	1	1	薬物乱用によって心身の健康にどのような害が及ぶのか、自分事として考えることができた。
37		通年	全学年・6学級・読書タイム「本に親しもう」PTA図書ボランティア5名・低・中・高学年ごとに年間5回	5	75	昔話や英語の本など、様々な本に親しむことができた。
38	福島第二中学校	5月29日	2・3学年 社会人マナー講座	1	1	2年生は職場体験活動へ向けて、3年生は高校体験入学へ向けての意識を高めるために行った。基本的なマナーを学ぶ良い機会となった。
39		7月1日～7月5日	2学年 27事業所 45名参加 職場体験学習	45	198	5年ぶりに5日間での体験活動が可能となった。充実した体験ができ、勤労について学ぶ良い機会であった。
40		7月17日	2学年 43名参加 手話出前講座	2	2	手話について学ぶとともに、難聴者について学ぶ機会となった。
41		11月12日	1学年 生徒40名参加 ときめき仕事体験 様々な職業紹介と体験活動 8講座	15	15	専門学校の教師を呼び、仕事の一部を実体験することができた。次年度の職場体験学習に結びつけることができた。
42		11月25日	1学年 生徒40名参加 放射線講座	1	1	市川クリックの先生による講座であった。放射線について基本的な知識を得ることができた。
43	3月17日	2学年 性の多様性講座	1	1	LGBTQなど性の多様性について生徒だけでなく、教師も保護者も学ぶ機会とする。	
44	福島第四中学校	1月22日	台湾の中学生(12名)との交流活動 ・第3学年生徒(約130名が参加) ・5グループに分かれ、日本の遊び(けん玉、福笑い、折り紙、ピー玉、コマ回し、羽子板、紙風船等)を教えた。	17	17	「国際交流」を目的として、日本の伝統文化や遊びを教えていただいたが、中学生も一緒に楽しく遊ぶ姿が多くあり、大変有意義な活動となった。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一小学校	6月18日	2年 生活科 15名 9:25～10:10 野菜の苗の育て方(手入れの仕方)を指導してもらう。	1	1	児童の育てたい野菜ごとに合わせた内容で、小さな実ができた後の育て方のポイントについて教えていただいた。
2		7月11日	2年 生活科 15名 9:25～10:10 野菜の育て方(芽かき・芯とめ)を指導してもらう。	1	1	夏休み前によりおいしくたくさん実を取獲するためのポイントについて教えていただいた。
3		10月31日	5年 家庭科 16名 10:30～12:10 ミシンを使ってエプロン製作のための操作の補助をしてもらう。	1	1	エプロン製作のためのミシン学習において、操作の仕方について支援いただくことで、スムーズに学習活動を進めることができた。
4	福島第二小学校	10月29日	5学年・1学級、3、4校時ミシン実習の補助。	1	1	担任の支援の手が届かない児童の支援を行っていただき、作品を完成させることができた。
5		2月13日	6学年・2学級。道徳科(生命尊重)の学習におけるゲストティーチャー。	1	1	ご自身の体験をもとに命の尊さについて説いていただく予定。
6	福島第三小学校	10月21日	道徳の授業における「生命尊重」の授業	1	1	児童が感銘を受けました。
7		10月23日	生け花指導(和心クラブ・生け花指導)	7	7	本格的な生け花体験となり、児童が満足感を味わうことができた。
8	福島第四小学校	6月25日	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人?」囲碁についての説明・体験(宮腰紹子様 宮腰典明様)	2	2	囲碁のルールについての説明を聞き、実際にやってみることで、囲碁への興味関心をもつことができた。
9		7月4日	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人?」名人になるまでの経緯・名人としての思いや考えについてお話をいただく。(宮腰紹子様 宮腰典明様)	2	2	宮腰さんの思いや考えを聞いたり、疑問に思ったことを質問したりすることにより、名人と呼ばれる人への理解を深めることができた。
10		10月26日～27日	全学年・6学級「中央地区文化祭」作品出品			子どもたちの作品を展示していただき、地区の文化祭へ間接的に参加・協力することができた。
11		11月25日	第6学年・1学級・家庭科「生活を豊かに」ソーイング」ミシン縫いでトートバッグを作るに当たっての個別支援(浅野良子様)	1	1	トートバッグ製作において、ミシンの使い方など個別支援を充実させることにより、技能の習得と製作の喜びを味わうことができた。
12	福島第二中学校	1月30日	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人?」三味線についての説明・体験(浅野良子様)	2	2	三味線演奏を聞いたり、実際に演奏したりすることで、三味線への興味関心をもつことができた。
13		2月14日	第3学年・1学級・総合的な学習の時間「名人ってどんな人?」三味線名人になるまでの経緯・名人としての思いや考えについてお話をいただく。(浅野良子様)	1	1	浅野さんの思いや考えを聞いたり、疑問に思ったことを質問したりすることにより、名人と呼ばれる人への理解を深める。
14		2月21日(予定)	第6学年・1学級・道徳科「命のかげやき(生命の尊さ)」(岡部経子様)	1	1	岡部様との交流を通して、自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。
15	福島第二中学校	10月24日・28日	2・3学年希望者による中央学習センターで開催する中央地区文化祭の会場準備・撤去活動	95	95	地域に貢献できる貴重な機会となっている。今後も地域との関わりを大切にしたい取組として続けていきたい。
16		3月1日	吹奏楽部 市民センターオープンセレモニー	16	16	地域の新しい施設のオープンを彩る役割を担うことに喜びを感じて活動している。
17	福島第四中学校	3月1日	市民センターのこけら落とし(オーブニングふれあいコンサート)・吹奏楽部の演奏披露	19	19	地域にあるセンターで、普段の活動の成果を発表する機会を得ることで、地域の一員としての自覚が芽生え、地元福島を愛し、誇りをもつことができるようになるであろう。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4～1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	2
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○クラブ活動における生け花体験でのボランティア派遣依頼について、新たにボランティア登録をしてもらった学習センター利用団体を派遣することができた。

○ボランティアの支援に対する子どもたちからのお礼の手紙やメッセージ、また、学校の必要感によるボランティアの活用は、ボランティアの成就感、達成感につながっている。

○中央地区文化祭での中学生による準備、片付け作業は大いに助かるものであり、学習センター利用団体や地域住民に中学生の活動の様子をみてもらう良い機会であった。

●個別の支援が必要な活動分野でのボランティア登録が少ないので、授業効果を上げるためにも複数のボランティアを確保しておく必要がある。

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.2	三河台学習センター
対象校	三河台小学校、岳陽中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	三河台小学校	6月19日	5年総合的な学習の時間「発見！円盤餃子のひみつ」 ・5年生72名 ・ふくしま餃子の会会長さんから、ふくしま円盤餃子について話を聞こう	1	1	福島の食文化の一つである「ふくしま円盤餃子」について、理解を深めることができた。
2		7月10日 7月11日 7月16日	5年総合的な学習の時間「発見！円盤餃子のひみつ」 ・5年生各日24名 ・ふくしま円盤餃子作り体験	1	3	ふくしま餃子の会会長さん(中華朴伝)に協力をいただき、学級ごとに円盤餃子づくりを体験し、その後のオリジナル円盤餃子づくりに生かすことができた。
3		10月9日 10月17日 10月19日	理科「金属の温度と体積」の授業支援 ・各回 4年生35名 ・熱による金属の膨張・収縮実験の計画、方法、実験の補助	4	12	株式会社福島製作所の方々に、児童の理科学習の支援と実験のアドバイスをしていただき、課題を追求することができた。
4		10月22日	理科「金属の温度と体積」の授業支援 ・4年生69名 ・熱による金属の膨張・収縮実験の補助	4	4	株式会社福島製作所の方々に、児童の理科学習の支援と実験のアドバイスをしていただき、課題を追求することができた。
5		1月16日	「だんごさし」 ・4年生69名 ・地域に伝わるの伝統行事である「だんごさし」について教えていただき、「だんごさし」を体験	5	5	地域の方々に教えていただきながら「だんごさし」を行い、地域の伝統行事に触れることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	三河台小学校	7月12日	生活科町探検 ・2学年52名。 ・グループごとに三河台地区内の施設・店等について調べ、地域の方々と交流した。	20	20	グループごとに、交通安全母の会の方々に見守りをいただいたことで、安全に地域探検をすることができた。
2		10月30日	生活科町探検 ・2学年52名。 ・グループごとに1学期に訪れた三河台地区内の施設・店等について、さらに学習を深めた。	20	20	グループごとに、交通安全母の会の方々に見守りをいただいたことで、安全に地域探検をすることができた。
3		6月24日 6月25日	家庭科学習の補助(手縫い) ・5年生72名	1	2	家庭科の手縫いの基礎について、教師の指導の補助や、児童にアドバイスをしていただくことができた。
4	岳陽中学校	10月31日	小中連携による地域の方々と一緒に行う朝の挨拶運動 (中1生数名が、卒業した小学校を母校訪問し、小6児童、地域の方々と一緒に朝の挨拶運動を行った)	50	50	今年度初めて、小中学生と地域の方々が一緒に朝の挨拶運動を行った。地域の活性化、地域と学校との絆の深まりなど、子どもが生活する地域における、学び・育ちの拠点として、学校の果たすべき役割を広げることができた。今回の「初めの一步」を礎に、今後も地域との関わりを豊かに耕していきたい。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○専門性に基づいた指導を受けることができ、大変参考になった。また、地域の皆さんとの交流を通して、地域に対する所属感を高めることができた。

○支援推進員に運営審議会の委員の方々を委嘱し、支援ボランティア候補者リストを幅広く求めた。

●小学校から要望のあった「戦争体験の話」など、高齢者の方の益々の高齢化でコーディネートが厳しくなっている。

●中学校から図書の整理について要望があったが、人材を見つけられず、要望に応えられなかった。

5 活動、支援の様子



ふくしま円盤餃子作り体験(三河台小)



理科「金属の温度と体積」の授業支援(三河台小)



地域の方々と一緒に行った朝の挨拶運動(岳陽中)



地域の方々と一緒に行った朝の挨拶運動(岳陽中)

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.3	渡利学習センター
対象校	渡利小学校、南向台小学校、立子山小学校、渡利中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	渡利小学校	6月24日	総合的な学習の時間「わたりのすてき」 リンゴ栽培についてのお話 3年2クラス	1	1	リンゴづくりについて工夫や苦労知り、興味関心を高めた。
2		10月10日	生活科「まちたんけん」 2年生2クラス	14	14	安全面に対し、とても効果的であった。
3		11月8日	総合的な学習の時間「わたりのすてき」 リンゴ収穫、試食会 3年2クラス	5	5	リンゴの収穫や試食を通し喜びを味わった。
4		11月20日	総合的な学習の時間「わたりのすてき」 りんごについてのまとめ 3年2クラス	1	1	リンゴづくりの苦労や工夫、体験活動を通して地域のリンゴづくりへに対する知識や関心が高まった。
5	南向台小学校	年10回	読み聞かせボランティア (全学年・読み聞かせ)	6	60	物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージしている児童が6割以上(全国学調)●県・全国は8割以上。
6		月1回	生け花ボランティア	2	24	児童の情緒を豊かに育てている。
7		7月24, 26, 29日	夏休み水泳学習(プール開放)(全学年)	18	33	地区自治会や地区青少年健全育成推進会の皆様、保護者の皆様の協力を得て実施した。
8		5月～3月 11月～12月	学習支援(1年～6年) 学習支援(1年～5年)	1 3	115 22	地域の学習ボランティアによる個別支援は大変有効であった。 外国籍児童への日本語支援、1学年の授業における個別支援が有効であった。
9		6月18日	木工クラフト体験学習(4年) 峯山太鼓体験学習(3年)	2 3	2 3	地区の公園で採取した木の実等を使った体験学習は有効であった。 和太鼓演奏体験は貴重な経験となった。
10	立子山小学校	5月17日	全校児童(3学級)でプランターに花の苗を植え、地域にある公共施設等に配り、育ててもらった。	10人以上	10人以上	子どもだけでなく、家庭や地域の方々と一緒にしながら苗植えをすることで立子山地区の一体感を味わうことができた。また、創立150周年事業への足掛かりとなるようにした。
11		6月1日	全校児童が地域に伝わる太鼓演奏の指導を受け、全校児童で演奏した。	3	3	児童が活動している様子を保護者にも見ていただくことで、地域の伝統を継承しようとする思いが高まった。
12		6月24日	読み聞かせボランティアによるお話を全校生で聞いた。絵本の読み聞かせに効果音を入れるなど工夫した内容だった。	8	8	読み聞かせに効果音を入れるなど内容が工夫されていたので、子どもたちも真剣に耳を傾け、絵本の世界を十分に楽しめた。
13		12月19日	全校児童(3学級)で地域にある齋藤吉光食品へ行き、凍み豆腐の作り方や凍み豆腐を干すときの編み方を学習し、実際に学校で凍み豆腐を編んで干した。	2	2	実際に地域の産業に触れることで地域のよさに気づき、立子山への誇りや思いをもつことができた。
14		2月6日	3～6年生(2学級)で学校で干した凍み豆腐を使って、調理して食べた。	5	5	地域の特産物である凍み豆腐のおいしい食べ方を知り、家族等に伝えることができた。
15	渡利中学校	9月2日～6日	職場体験実行委員会(2学年・3学級(計76人)) 職場体験活動場所の提案や体験場所訪問ボランティアを行った。	7	7	教師だけでは対応できない部分で、協力いただき充実した職場体験となった。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	渡利小学校	4月25日 7月12日 2月27日	学級懇談会での預かり児童の支援を行った。	5	15	懇談会時の待機児童の宿題や自主学習、読書などボランティアのできる範囲で支援していただいた。

2		10月8, 9, 17日	学習ボランティアとして、5・6年生のミシンの支援を行った。	4	4	児童の活動がスムーズに進み、ミシンの使い方も定着してきた。
3		9月4日	琴の先生をお招きし、演奏を聞いたり演奏体験をしたりした。	3	3	伝統的な楽器の音色を楽しみ、直に演奏することができた。
4	渡利小学校	11月19日	茶道の先生をお招きし、お茶を実際にいただいた。	6	6	歴史の学習と関連させながら、楽しく体験することができた。
5		12月16, 18日	2年生が渡利学習センターを訪れ、図書館等を見学させていただいた。	2	4	身近な公共施設を見学することで、地域への関心を高めることができた。
6		2月20日	1年生が地域のボランティアと一緒に「昔遊び」を行った。	10	10	昔遊びを通して、ボランティアの方々が先生として、1年生と楽しく触れ合った。
7	南向台小学校	6月～2月	わんぱくキッズ(4年1名、5年2名)	1	10	野外等での体験を通して、豊かな学びを得ることができた
8	渡利小学校 南向台小学校 立子山小学校	10月12, 13日	渡利・立子山地区 文化祭	1	2	書写や絵画、工作等の発表の場をご提供いただき、児童は熱心に作品制作に取り組んだ。
9		7月1, 4, 10日	福祉学習(1学年・3学級(計83人) 地域の福祉に目を向けて課題意識を持ち課題解決のための実践的な態度を身につけるために、高齢者体験を行った。	3	9	体験を通して、高齢者の実態を理解することができた。
10	渡利中学校	10月12日	地区文化祭において、渡利中の吹奏楽部の生徒が演奏を披露した。	3	3	体験を通して、障がい者について理解を深めることができた。
11		12月11日	福祉学習(1学年・3学級(計83人) 高齢者や障がいを抱えている方と積極的に関わろうとする気持ちを持つために、手話体験を行った。	3	3	体験を通して、障がい者について理解を深めることができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○「子どもといると楽しいね」という声が聞かれる。例年行っている活動は、学校支援ボランティアの方々の協力を得てスムーズに行うことができた。渡利小の昔遊びは、遊び道具を事前に手作りで用意してくれたり、独自のアイデアを提案してくれたり大変頼もしい。協力いただいた琴の師範の先生は、「学校のため協力したいので、早く日程を教えてほしい」と次年度のことまで考えてくれている。

○小規模の小学校はもともと地域との関わりが強く、学習センターを通さず独自に地域とつながり、活動を進めている。それでも文化祭などで、学習センターともつながってくれており、様々な事業に参加してくれている。

●非常に協力的な反面、登録数も減ってきているのも現状である。様々な活動で協力してくれる人数を確保していきたい。

5 活動、支援の様子



渡利小 1年生 昔遊び



渡利中 1年生 高齢者疑似体験

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.4	杉妻学習センター
対象校	清明小学校 杉妻小学校 福島第一中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一中学校	11月7日	全校生510名「家庭教育講演会」 講師:認定音楽療法士 近藤美智子氏	2	2	「生きる希望と力」について一人一人が考える良い機会となった。
2		12月10日	1学年5学級「職業人に学ぶ会」 各職種の講師派遣をコーディネート	5	5	働く意義・魅力などを知り、進路選択に役立つ機会となった。
3		年1回	母校の小学校へ出向いて「あいさつ運動」を実施	2	2	卒業生の活動に接することで、小中生交流の機会となった。
4	清明小学校	11月12日	3~6年生の児童が、自分の住む地域の危険箇所を地域ボランティアの案内と説明により学ぶ。	13	13	過去に想像を超える水害が発生していたこと、その危険性を実感を伴って学ぶことができた。
5	杉妻小学校	11月11日	3学年・3学級・杉妻フィールドワーク	2	2	地域の伝統を守るためや安全、生きがいをサポートするために様々な取り組みをしていることを学んだ。
6		12月2日	3学年・3学級・総合の学習(濁川について、昔の地図から、旧4号線について)	1	1	児童一人一人が解決したい課題について丁寧に説明して下さった。
7		6月17日	4学年・3学級・水道出前講座・水道の仕組みの説明やろ過実験	10	10	拡大パネル等で水道の仕組みを分かりやすく解説して下さった。実験を楽しく行いきれいになる仕組みが理解できた。
8		7月8日	4学年・3学級・濁川、杉妻地区の歴史についての講義	1	1	地区の昔の様子を話して下さり、洪水を防ぐための工事や、学校前の水門の役割について理解することができた。
9		9月27日	4学年・3学級・荒川、水林自然林探索(森の案内人によるガイド)	6	6	荒川の歴史、霞堤の役割について学んだ。水林自然林の中を歩き、自然の素晴らしさを感じる事ができた。
10		11月27日	4学年・3学級・森林教室(製材所・原木センター見学、丸太切り体験)	15	15	福島市の林業の様子に関心をもつことができた。
11		12月3日~5日	5学年(3日に分けて、学級ごとに福島市手話出前講座)	6	18	聴覚障がい者からの講話や手話を体験することによって、障がい者への理解や自分が何をすべきなのかを考える機会を得た。
12		12月16日	5学年・3学級・パラリンピック競技体験と講話(車いすバスケットボール講話、卓球バレー)	3	9	パラリンピック競技を体験することでパラスポーツの楽しさを味わい全ての人が楽しめるルールに気づくことができた。
13		1月23日~25日	5学年・(3日に分けて、学級ごとに点字体験)	9	27	視覚障がい者からの講話や点字体験によって障がい者への理解や自分がどのように接すればよいかを考える機会を得た。
14		6月3日	6学年・3学級・租税教室(税に関する知識を豊かにする)	2	2	税金に対する基本的なことを学ぶことができた。税の種類や税の大切さ、なぜ必要なのかを理解することができた。
15	11月6日 11月8日	6学年・3学級・サッカーの楽しさを体験する	4	4	サッカー競技の特性にふれ、男女ともに楽しく活動できた。活躍している選手との交流をもちたかった。	
16	2月4日	6学年・3学級・一貫張り(卒業制作、一貫張りによる皿のつくり方)	2	2	保護者に向けてのプレゼントとして、貴重な一貫張りによる皿のつくり方を体験することが出来た。	
17	1月14日	5,6学年・6学級・ふくしんマネースクール(銀行・貸出・為替・両替・運用について)	5	5	金銭の使い道を考えたり物を大切にすることを学んだりして、感謝の気持ちを養った。株や投資の話も伺った。	

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	福島第一中学校	10月26日	合唱部 地域文化祭への参加	10	10	地域文化祭の開会式と芸能発表の場において地域との交流を図ることができた。
2	杉妻小学校	1月16日	2学年3学級 生活科「だんごさし」	12	12	数年ぶりに地域ボランティアの指導で伝統行事を体験した。だんごの美食も楽しんだ。
3		1月23日	1学年3学級 生活科「冬をたのしもう」昔遊びをしよう。	15	15	昔遊び(9種)の楽しさを実感でき、地域の方との交流を図ることができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各教育活動の目的に準じたコーディネートは、概ね達成できたと思われる。今年度、見通しは十分ではなかったが、該当学年主任との連絡調整もある程度スムーズに行えた。
 ○学校関係者以外の関わりが増えることで共通理解や準備に労力を割くことになるが、より豊かな教育活動を支援することができた。
 ●コロナ禍前のボランティア数は確保できず、本来必要とする人員を下回っている。高齢化もあり支援継続が、難しくなっている。
 ●各学校との協働事業において、主催・共催、協力依頼、役割分担等が十分に確認されないまま事業展開する場面があった。
 ※発案、要請・要望等のやり取りは、担当学年や地域と効率的に進めながら、双方の代表・責任者に適宜報告・連絡を行っていく。

5 活動、支援の様子



家庭教育講座(福島一中)

職業人に学ぶ会(福島一中)



だんごさし(杉妻小)



むかしあそび(杉妻小)

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.5	蓬萊学習センター
対象校	蓬萊小学校・蓬萊東小学校・蓬萊中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	9月17日	福島市包括支援センター「高齢者の体験活動出前授業」(5年・1クラス・高齢者体験や福祉に関する講義)	5人	5人	高齢者の体験活動を通して、体に起こる変化を実感をもって理解し、福祉事業等に対する理解や関心を高めることができた。
2		11月9日	秋の一斉清掃奉仕活動(児童・保護者・教員38名参加・学校校庭南側法面・東側法面及び歩道の落ち葉はき)なごみ会12名参加	50人	50人	校舎周辺の歩道の落ち葉を清掃し、環境美化を図ることができた。
3		11月23日	蓬萊地区青少年健全育成推進会親子清掃(希望家族・学校から29家族+愛育園から複数名・蓬萊中央公園内のごみ拾い活動)蓬萊中学校・蓬萊東小学校も参加	65人	参加	蓬萊中央公園内のごみ拾いを進め、公園内の環境整備を図ることができた。
4		12月3日	福島市環境再生プラザ「放射線教育出前授業」(6年・2年・1年・3クラス・放射線教育に関する出前授業)	4人	12人	学年に応じた資料提示や実験活動などを通して、放射線に関する知識や放射線を減らす取組等について理解を深めることができた。
5		12月4日	福島市環境再生プラザ「放射線教育出前授業」(4年・3年・2クラス・放射線教育に関する出前授業)	4人	8人	学年に応じた資料提示や実験活動などを通して、放射線に関する知識や放射線を減らす取組等について理解を深めることができた。
6	蓬萊東小学校	5月	長秀院住職のお話を聞く(3年・1学級・地域の歴史を話す)	1	1	3年生の子供にもよくわかるよう、地域の歴史を話していただいた。
7		12月2日	地域の自然を大切に(3年・1学級・川の環境を守る)	3	3	地域の田沢川の水質をきれいにしたいという思いに共感した。
8	蓬萊中学校	6月25日	「性教育講座」(2・3年生対象)西口クリニック婦人科院長(野口まゆみ先生)を招いて開催。専門的な立場から、男女の体の違い、妊娠、出産の仕組み、命を預かる責任、正しい性に関する知識等についてお話しいただいた。	131		専門医からの説明で生徒たちの真剣さが違った。性に関する正しい知識だけでなく、自分たちが親から頂いた「いのち」が、かけがえのない尊いものであることを実感できた生徒が多かった。
9		7月1日~5日	職場体験活動(中2年生)今年度は、蓬萊地区を中心に27事業所(飲食店、スーパー、医療機関、公共機関等)にお世話になった。	68		学校では学ぶことのできない、働くことの意義や、社会貢献することのやりがいなど、貴重な体験をすることができた。 ●26名の生徒が第3希望までの職種で体験ができなかった。
10		7月2日	1学年社会人に聞く会 地元の「ムネカタ株式会社」の方々に来校いただき、日本のトップ企業を支える最先端技術や、その技術を開発するチャレンジ精神など、社会人として仕事へ対する働くことの意義や誇りについて話していただいた。	63		蓬萊にこのような日本トップレベルの技術を持つ企業があることを知り、とても誇りに思ったという生徒が多かった。また、名前を知っていても何をしているか会社からなかったのを知れてよかったという感想が多く聞かれた。
11		11月11日	小6・中2ボランティア活動活動 来年度に蓬萊中の新入生になる小6年生と来年度最上級生になる中2年生で蓬萊中央公園のクリーン活動をする。蓬萊中と蓬萊東小で実施。残念ながら蓬萊小はインフルで不参加。	中68 小30		13班編成で作業し、中学生がリーダーシップをとって、小学生と協力してボランティア活動をする姿見られてよかった。
12		12月12日	薬物乱用防止教室 学校薬剤師松川天王原薬局の高藤英子先生を招いて開催。市販薬でも服薬の仕方(オーバードーズ)によっては危険や薬物になることなど、身近な生活に潜む薬物の危険性についてお話をいただいた。	68		毎年2年生で開催しているが、最近はオーバードーズが話題となっていたこともあり、生徒たちの関心が高かった。感想も充実したものが多かった。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	蓬萊小学校	5月13日 10月24日	蓬萊なごみ会によるサツマイモ植え・サツマイモ収穫(2年・2クラス・畑の畝づくり、苗植え、収穫のお世話)	4人	8人	生活科の学習で、専門的な知識を有するなごみ会の方のご協力をいただいたおかげで苗植えや収穫を体験することができた。
2		5月17日~3月7日 14回	蓬萊おはなしの会による本の読み聞かせ(1・2年2クラス・朝の時間(8:10~8:20)各クラスを訪問しての本の読み聞かせ)	5人	28人	各学年の児童の興味関心に合わせた本の読み聞かせをいただくことで読書への興味関心が高まった。
3		9月9日 9月19日 9月25日10月17日	蓬萊レディスカレッジによる「ミシンボランティア」(5年・1クラス・家庭科のミシン学習の補助)	7人	26人	ミシンを使った裁縫学習に向け、事前のミシン調整やミシン掛けの作業の支援をいただいたことでミシンを上手に使う製作活動を進めることができた。
4		10月3日、10月5・6日	蓬萊地区文化祭作品出品(全学年・9クラス・書写作品、絵画作品の展示)			子どもたちの作品を地域の方々に見ていただくことで、学校の教育活動への関心を高め、子供たちの活動への理解を得ることができた。

5		10月8日	1年生見学学習(あづま運動公園・四季の里)の引率ボランティア	2人	2人	1年生児童33名が安全に見学学習を進めるにあたって、引率ボランティアの方に協力いただき、安心して活動を進めることができた。
6	蓬萊小学校	11月12日	蓬萊なごみ会による昔遊び体験学習(1年・1クラス・竹とんぼ、缶ぼっくり、お手玉、こま回しなどの昔遊び体験のお世話)	7人	7人	地域の方々と触れ合いながら、昔遊びを覚えていただき、昔遊びに親しむことができた。
7		11月12日 11月20日 11月27日	蓬萊レディスカレッジによる「ミシンボランティア」(6年・1クラス・家庭科のミシン学習の補助)	6人	18人	ミシンを使った裁縫学習に向け、ミシン掛けの作業の支援をいただいたことでミシンを上手に使用して制作活動を進めることができた。
8		5月～12月	本の読み聞かせ(全学年・全学級・絵本の読み聞かせ)	8	80	子供の読書への関心が高まった。
9	蓬萊東小学校	12月12日・19日	ミシン操作のボランティア(5年・1学級・ミシンの使い方)	8	16	一人一人の技能が高まり、一人でミシン操作ができるようになった。
10		1月～3月	特別支援学級ボランティア	1	11	予定
11		10月4日	第49回蓬萊地区文化祭の準備 蓬萊中の美術部が文化祭作品展示用のパネル設置の手伝いと、自校の作品展示を行った。	6		パネル設置は中学生の若い力を地域のために役立てることができた。壊れやすい作品等もあるため、自校の作品以外は展示のお手伝いが難しい。
12		10月5日	第49回蓬萊地区文化祭の準備 蓬萊中の3年生4名が、文化祭の学習発表会の司会をボランティアで努めた。	4		中3年生より希望者を募った。初の試みで、たどたどしいところもあったが、地域の方から温かい拍手をいただき、本人たちの自信にもなったようである。
13	蓬萊中学校	11月23日	親子清掃作業(蓬萊中央公園) 蓬萊小・中の児童・生徒、保護者が地域の方々が、蓬萊地中央公園の落ち葉拾いを行う。	20		中学校は部活動の大会や練習試合等があり毎年参加人数は少ないが、今年もPTA役員や先生方の参加もあった。
14		2月1日	明るい蓬萊を作るための意見交換会 毎年中学2年生が出品し、中学校からは10作品を選出される。当日は小中学校から選出された児童生徒と地域の方で意見交換会を行っている。	10		毎年、標語作ることによって生徒たちの蓬萊地区に対する意識の喚起が行われている。意見交換会も有意義な話し合いが行われている。 ●入選者全員の参加が難しいところが課題である。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

<p>○ 学校からの支援要請に応じた学校支援ボランティアをコーディネートすることができた。何年も継続してボランティアをしていただいているので、進め方や内容について理解していただいているので、スムーズに活動を支援することができた。</p> <p>○ 学習センターの事業参加者の組織を活用することができた。</p> <p>○ 地域の文化祭へ中学生に参加してもらうよう依頼して運営にも協力してもらい、地域の方々から大変好評であった。</p> <p>● ボランティア登録をしてもらっても、実際に活躍してもらう場面が全くない方もたくさんいる。学校に人材や活用場面の情報を提供しながら学習効果が上がるよう、ボランティアの活用がはかれるようにしたい。</p>
--

5 活動、支援の様子



1年生の見学学習では、引率が教員1名だったので、トイレの対応や安全管理のためにと、ボランティアの依頼があった。
初めていく公園でもあり、当日は雨であったが、遊具の使用やトイレへの引率など、とても有用であった。お願いしたボランティアの方たちも、子どもたちと一緒に活動できたことで、大変喜ばれた。



毎年学校から要請のあるミシンボランティア。事前にミシンの調整をしながら、担任との打ち合わせを行った上で、当日の活動に臨んでいる。1名のボランティアのかたが2~3名の児童について支援してもらえるので、慣れないミシンの操作だったが、スムーズに製作活動を行うことができた。

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.6	清水学習センター
対象校	御山小学校、北沢又小学校、清水小学校、森合小学校、清水中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	御山小学校	4月(7回)	給食支援ボランティアとして1学年2学級に給食の配膳と片付けの補助に入っていた。いただいた。	27	27	給食の準備と片付けの仕方をスムーズに指導でき、担任の負担が減った。
2		6~11月(9回)	ソーイングボランティアとして5学年2学級に家庭科の裁縫指導の補助に入っていた。いただいた。	8	42	ミシンの使い方などの指導が行き届き、担任の負担が減った。
3		6~7月(16回)	プールボランティアとして1~5学年のプール指導の際の監視・補助に入っていた。いただいた。	3	28	事故防止に役立ち、プールでの授業を安全に進めることができた。
4		6月(2回)	図工ボランティアとして4学年2学級に図画工作科の金槌・のこぎりの指導の補助に入っていた。いただいた。	2	2	事故防止に役立ち、担任の負担が減った。
5		11月~2月(7回)	読み聞かせボランティアとして各学年各学級に紙芝居等の読み聞かせに入っていた。いただいた。	6	24	児童の読書への関心を高めることができた。
6		1学期(7回)2学期(4回)3学期(16回)	図書ボランティアとして図書室の整理や本の修理等の作業をしていた。いただいた。	12	22	図書室の環境改善に役立ち、司書教諭の負担が減った。
7		毎週月曜日	生け花ボランティアとして、校長室昇降口等に花を生けていただき、環境整備に尽力いただいた。	1	33	環境が整えられ、子どもたちの学校生活が潤いのあるものとなった。
8		授業日(約200回)	登下校の見守り、声かけを行っていた。いただいた。	204	約2,000	児童の事故防止が図られた。交通ルールや挨拶などお声がけいただき、子どもの成長につながった。
9		1学期(1回)2学期(4回)	栽培ボランティアとして、畑の作物の収穫体験や栽培活動への助言を行った。	4	20	収穫体験を通して、食物を得るありがたみを学ぶ機会となった。さらに、作物の生育に必要な助言をいただき、自信を持ち取り組むことができた。
10		9月25日	「地域の名人に学ぼう」として、地域の方を招き、発達段階に応じた様々な活動について教えていただいた。	59	59	様々な活動を教えていただき、地域の方と交流を深めながら楽しい時間を過ごすことができた。地域の方からの賞賛や励ましにより、子どもたちの自信につながる活動となった。名人とのコンタクトや、日程調整の負担を軽減するために、学習センターのご協力をいただき充実させたい。
11	北沢又小学校	4月16日	全職員対象、学校内科医によるアナフィラキシーショック対応のエビベン講習	1	1	重度の食物アレルギーをもつ児童への対応の仕方について、実技を伴った講習、演習を行うことができた。
12		5月31日	全職員対象、消防署職員による救命救急講座(AED使用)	2	2	水泳学習が始まる前にAEDの使用法について理解を深めることができた。
13		6月20、28日	2年生対象・保護者による生活科町たんけんの引率補助	15	19	保護者の協力により、児童が安全に町たんけんを行うことができた。
14		7月17日	5・6年生対象、水難事故対応の出前授業(着衣水泳)	3	3	着衣水泳等の体験を通して、溺れてしまった際の対処法について学ぶことができた。
15		9月2、9、18、20日	5年生対象、包括支援センター職員による認知症サポーター養成講座	15	35	認知症に対する理解を深めることができた。
16		9月24、26、30日	5年生対象、社会福祉協議会コーディネートによる出前講座(高齢者疑似体験)	3	3	疑似体験を通して、高齢者に対する理解を深めることができた。
17		10月1日	5年生対象、市障がい福祉課による出前講座(手話)	2	2	疑似体験を通して、視覚障がいに対する理解を深めることができた。
18		10月20日	地区体育協会主催運動会、PTA主催秋祭り	6	6	地域の運動会に参加することで、地域住民との交流を深めることができた。また、秋祭りも同時開催としたことで、参加者が増えるとともに、児童も販売等の仕事を体験することができた。
19		11月8日	2年生対象・生活科県立図書館見学の引率補助	1	1	電車を利用した見学のため、移動時の安全確保ができた。
20		11月13日	特別支援学級対象、JAによる米粉クッキング体験	8	8	米粉を使った料理(クレープ)体験を通して、米の消費量拡大の一つとしての身近な米粉料理について学ぶことができた。
21		11月14日	全校生対象、読書ボランティアによる秋のおはなし会	14	14	紙芝居や人形劇など、読書の枠を超えた読み聞かせを体験することができた。
22		11月15日	3年生対象、福島消防署、女性消防団による防火・防災教室	12	12	消防車見学や自分たちのできる防火・防災に関する取組について理解することができた。
23		1月27日	特別支援学級対象、保護者による地区特別支援学級・学校合同作品展見学の引率補助	3	3	電車を利用した見学のため、移動時の安全確保にご協力いただいた。また、一般の飲食店で昼食をとることもできた。
24		1月29日	4年生対象、JAによるリンゴジャムづくり	7	7	地場産品のリンゴを使ってジャムづくりを体験することを通して、地産地消に対する理解を深めることができた。
25		1月31日	6年生対象、雅の会ふくしまによる雅楽体験教室	12	12	雅の会ふくしま会長が地域の神社の宮司さんであるつながりから実現した。日本古来の伝統文化に触れる良い機会となった。
26		2月18、21日	3年生対象、社会福祉協議会コーディネートによる心のバリアフリー講座(点字・手話教室)を実施予定			
27		3月7日	6年対象、学校薬剤師の薬物乱用防止教室を実施予定。	1	1	

28	清水小学校	10月より12回	第2学年・特別支援学級の児童に対する個別支援を実施 個別に配慮が必要な児童に対する支援を行った。	1	1	一斉指導だと理解が進まない児童に対する支援を積極的に行った。
29	清水中学校	9月21日	しみずキッチン。地域の子ども食堂の協力を得て、中体連に向けて頑張る中学生をいも煮で応援する取組。	20	35	地域と生徒の距離感が縮まった。また、教職員と地域の協働体制が出来つつあること。 ●生徒全員参加が出来ないこと。
30		3月22日	感謝コンサート。日頃、お世話になっている方々に吹奏楽部が感謝の意を込めてコンサートを行う。	15	20	生徒役員など、積極的に準備や後片付け等に参加した。地域の方に宣伝活動を行った。 ●定期行事として定着させたい。
31	森合小学校	9月2・9日	二つ山公園散策(3学年・1学級・散策の際の安全補助)	7	14	児童も教師も安心して公園の散策に取り組むことができた。
32		6月11・13・25・27日	町探検(2学年・3学級・町探検の際の安全補助)	4	16	道路を歩行する際に、声をかけていただいたり、お店での行動を見ていただいたり安心して町探検に取り組むことができた。
33		9月10・12・17・19日	町探検(2学年・3学級・町探検の際の安全補助)	5	20	同上
34		7月10日	ミシンでの裁縫活動(6学年・2学級・ミシンの操作補助)	1	2	ミシンの調子が悪い時に直していただいたり、操作を手伝っていただいたり、活動をスムーズに取り組むことができた。
35		毎学期	朝の読書(全学年・全学級・読み聞かせ)	18	54	児童が読み聞かせを楽しみにしている。また、読書への意欲も高めている。
36	清水中学校	秋季	たんぼぼ保育園への落ち葉の提供。たんぼぼ保育園での焼き芋体験に使う落ち葉を提供する。	20	20	●たんぼぼ保育園からの要請から始まったが、来年度は生徒会の活動として取り組みたい。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	御山小学校	9月28日	生涯学習の集いにおいて、6年生が鼓笛演奏を披露した。併せて、各学年から出品した絵画等の作品を展示いただいた。			これまでの成果を発表させていただいたことで、保護者地域の皆様に子どもたちの姿を称賛していただく機会となり、子どもたちも充実感を味わうことができた。
1	北沢又小学校	準備11月8日 当日11月9、10日	清水地区文化祭に児童作品を出品した。			児童の硬筆・毛筆・絵画等を、広く地域の方々に見ていただく機会となり、出品された児童の自信につながった。保護者も喜んでいただいた。
3	清水小学校	11月9日、10日	合奏部が清水地区文化祭において演奏をする機会をいただいた。また、児童作品を出品した。			これまでの成果を発表させていただいたことで、保護者地域の皆様に子どもたちの姿を称賛していただく機会となった。
4	森合小学校	11月9日、10日	清水地区文化祭に児童作品を出品した。			児童作品を地域の方に見ていただくことで、工生徒の制作に対する意欲が高まった。
5	清水中学校	11月9、10日	清水地区文化祭に生徒作品を出品した。			生徒作品を地域の方に見ていただくことで、工生徒の制作に対する意欲が高まった。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	3
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	3
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	3

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各学校はこれまで通り、学校独自に地域人材を生かして効果的な教育活動を行っている。また、清水学習センターで行われた「清水地区文化祭」や「生涯学習のつどい」では、実行委員会の要請に応じて鼓笛隊や合奏部の演奏、絵画や工作の作品展示等の参加により、地域との連携も図っていて地域からの評価も高い。

●昨年度まで不在であったボランティア登録者は2名となったが、さらにボランティア登録と保険加入のについて啓発していく必要があると感じている。

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.7	もちずり学習センター
対象校	岡山小学校、月輪小学校、福島第三中学校、ふくしま支援学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	5月15日 6月26日 11月20日	4年(2学級)地区探検、見学	3	7	地域の文化や伝統を守ろうとしている人々の思いや願いを知ることができた。
2		5月24・30日 6月7日	2年(3学級)地区探検、見学	2	10	地域の人、もの、ことにふれあい、地域のよさを知ることができた。
3		6月14日	5年(3学級)地区探検、見学	5	5	地域内の施設や公共物を見学することで、バリアフリーやユニバーサルデザインについて理解を深めることができた。
4		9月25日 10月3日	3年(2学級)地区探検、見学	9	15	自然探索により地域の自然について理解を深めたり、施設を見学することで、働く人々について理解を深めたりすることができた。
5		11月26日	3年(2学級)地域学習(消防の仕事)	3	3	地元消防団の方を講師に招いて教えてもらい、地域で活躍する方々の願いや思いについて理解を深めることができた。
6		8月30日 10月30日	1年(2学級)地域自然学習	2	4	専門的知識を持つ方を招いて教えてもらうことで、地域の植物や動物について理解することができた。
7	月輪小学校	5月31日	3学年・23名・理科「チョウを育てよう」 ・アゲハ蝶の育て方の講話	1	1	専門性の高い講師のもと、話を聞いて意欲的に取り組んでいた。
8		6月6日	3学年・23名・総合「月輪の先人に学ぼう」 ・オニヤンマの模型作り	1	1	専門性の高い講師のもと、積極的に取り組んでいた。
9		7月4日	3学年・23名・総合「月輪の先人に学ぼう」 ・野菜作りについての講話	1	1	専門性の高い講師のもと、意欲的に取り組んでいた。
10		6月5日	4学年・20名・キュウリ苗植え	1	1	専門的な知識を持つ方の協力を得て苗植えを体験することができた。
11		6月17日	4学年・20名・キュウリ脇芽かき	1	1	専門的な知識を持つ方の協力を得て脇芽かきを体験することができた。
12		6月21日	4学年・20名・キュウリ支柱立て	1	1	専門的な知識を持つ方の協力を得て支柱立てを体験することができた。
13		6月4日	1・2学年・32名・さつまいも苗植え	1	1	専門的な知識を持つ方の協力を得て苗植えを体験することができた。
14		10月23日	1・2学年・32名・さつまいも掘り	1	1	専門的な知識を持つ方の協力を得てさつまいも掘りを体験することができた。
15		11月29日	1・2学年・32名・収穫祭	1	1	専門的な知識を持つ方の協力を得て収穫祭を体験することができた。
16		11月26日	5学年・18名・米粉クッキング体験	4	4	地域の農産物を生かした料理に関心を持って積極的に取り組むことができた。
17	12月18日	4学年・20名・りんごジャム作り体験	5	5	地域の農産物を生かした料理に関心を持って積極的に取り組むことができた。	
18	福島第三中学校	9月2日～ 9月6日	職場体験活動 2学年生徒が、市内54事業所等において職業体験を行った。	—	—	事業所で仕事をしたり、仕事に従事する方々から働くことの楽しさや厳しさの話を聞いたりすることにより、職業観・勤労観が育まれた。
19		10月16日	朝のあいさつ運動 登校時間帯に、本校校区の小学校4校に、3学年生徒それぞれ4～5名が出向き、あいさつ運動を実施した。	—	—	初めての試みであったが、各小学校にも協力をいただき実施することができた。しっかりあいさつができるよう、今後も校区をあげて取り組んでいきたい。
20		11月7日	朝のあいさつ運動 登校時間帯に、本校校区の小学校4校に、2学年生徒それぞれ4～5名が出向き、あいさつ運動を実施した。	—	—	各小学校の児童も、一回目よりはあいさつを返してくれたようである。次年度は、中学生だけでなく保護者や地域の方にも協力をいただけるよう尽力したい。
21		1月15日	社会人に学ぶ会 保護者を含め10名の方に講師をお願いし、それぞれの仕事について、1学年生徒に話をいただいた。	10	10	10名の講師の方々が、実演や実物提示を交えながら話をしてくださった。生徒は興味深く話を聞くことができ、働くことの意義について理解することができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	岡山小学校	4月9日～ 4月30日	1年(2学級)登校時の支援	5	23	4月当初、学校生活に慣れない1年生を昇降口で出迎え支援していただいたことにより、スムーズに学級での活動につながることもできた。

2		6月12日	6学年・15名「月輪の歴史を知ろう」ガイド ス	1	1	月輪の地名の由来や阿武隈川との関わり等、具体的に分かりやすかった。
3		6月17日	6学年・15名「月輪の歴史を知ろう」フィールド ワーク	1	1	じょーもびあ宮畑近辺の昔の川の流れ、熊野 神社などの歴史を現地を教えていただき、児 童の関心が高まった。
4	月輪小学校	8月28日	6学年・16名・家庭科 小物作り実習の補助	4	4	トートバッグ製作においてミシン操作の支援 を受け、活動に熱心に取り組むことができた。
5		9月24日 10月4日	5学年・18名・家庭科 ミシン実習の補助	4	8	支援の方の説明をしっかりと聞きなが ら、一生懸命に取り組むことができた
6		11月7日	1・2年32名 3・4年43名 5・6年34名 マラソン大会	10	10	地域の方の協力を得、校庭周辺のコースを 使ったマラソン大会を安全に実施することが できた。
7		12月6日	1・2年32名 3・4年43名「絵本の読み聞か せ」	5	5	手遊びや手話も取り入れて構成されてい て、楽しく参加することができた。
8		1月16日	1・2年32名「昔遊び」	4	4	竹馬・缶ぼっくり・紙飛行機・竹とんぼに 親しみ、楽しく参加することができた。
9	ふくしま支援学校 小学部	4月22日～ 10月30日	2年(1学級)身支度や遊びの見守り 学習時間における担任の指導補助	1	18	昨年度から引き続き同じ学級で学習支 援をいただいた。子ども達も待ち望んで いて、学校としても大変助かった。
10	ふくしま支援学校 中学部 小学部	4月23日 4月25日	中学部全学年(8学級) 小学部全学年(13学級) 避難訓練の安全な誘導	7	7	音楽堂までの避難に関して、道路の危険 個所に立っていただき誘導や安全確認 を行っていただいた。小・中学部ともに 安全に行うことができ、ありがたかった。
11	ふくしま支援 学校 高等部	7月3日	2年(3学級) 校内美化活動と交流	5	5	校内の美化活動を行うとともに、一緒 にゲームをしたり話をしたりして交流す ることができた。生徒にとってもボラン ティアの方にとっても楽しい時間となっ た。
12		11月2日	3年(4学級) 生花のアレンジメント	3	3	一人1つずつフラワーアレンジメントを仕 上げ、家庭に持ち帰った。丁寧な指導の おかげで全員きれいにできて生徒たち はみんな満足していた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	3
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 避難訓練時の安全確保、入学時における1年生の生活支援等、これまでなかった活動依頼が増えた。本事業について学校側の理解が深まってきたといえる。年間を見通した活動計画があるとボランティアの方も早めに準備でき、コーディネートを進めやすい。
- 福島第三中学校からの声かけで、中学生が小学校へ出向いて行う朝のあいさつ運動を始めることができた。代表委員会の児童も一緒に活動し、最初は不思議そうな表情をしていた小学生もあいさつを返してくれるようになった。中学校では、今後、地域の方と共に行う活動に広めていきたいとのことである。
- ボランティアの方から、お礼の手紙をもらったり、ポータルサイトを見た保護者の方からお礼を言われたりして嬉しかったとの話があった。
- 運営審議会の時など活動の紹介をしているが、地域の方に本事業を周知してもらうのは難しい。少しずつ活動の発信を続けていきたい。

5 活動、支援の様子



1年生入学時支援(岡山小)



あいさつ運動(福島三中)



卓球教室(岡山小・月輪小・三中)



マラソン大会(月輪小)



読み聞かせ(月輪小)



昔遊び(月輪小)



避難訓練
(支援学校 小・中学部)



美化活動
(支援学校 高等部)



フラワーアレンジメント
(支援学校 高等部)

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.8	北信学習センター
対象校	鎌田小学校 瀬上小学校 余目小学校 矢野目小学校 北信中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1		6月12日 10月29日	2学年3学級の生活科「せの上町をたんけんしよう」において、保護者ボランティアの方に安全を見守っていただいた。	19	28	〇一緒に探検していただき、安全管理をしていただいたため、安心して探検することができた。
2	瀬上小学校	4月23日 6月5日 8月26日 10月2日	3学年3学級、総合「われらアップルたんけんたい」でリンゴ農家(保護者)のリンゴ畑を訪れた。受粉・摘果・収穫・反射シート敷き体験などを行った。3学期に「流通についての講話」「ジャムづくり体験」を行った。	1	4	〇1学期に1本ずつの木を担当し、全員が作業をすることができた。反射シートを引く際も、学級で2本ずつ担当したので、全員で協力して体験することができた。 ●天候に左右されるので、予定通りの日程で実施できない日もあり、調整が難しかった。
3		2月上旬	5学年3学級、家庭科で味噌づくり体験を行う予定。地域の良さ発見したい。			
4		6月21日 10月7日	6学年3学級、家庭科で味噌づくりの天地ガエシを見せていただいた。	1	2	〇子供たち自身が5年生の時に作った味噌がどのようにになっているかを見ることができた。 〇味噌の発酵の状態や様子を実際に見ることができた。その味噌をその場で少し味見した。とても有意義な時間であった。
5		5月15日	鼓笛パレードで楽器を運んでいただいた。	5	5	〇例年通り、とてもスムーズに楽器運搬を行うことができた。
6		5/17.31 6/14.28 7/12 10/4. 28 11/8.22 12/5	1～3学年の各学級、朝の10分程度の時間で、学生が絵本の読み聞かせをしてくれた。(2人×9学級×10回)	180		〇読み方や前後の話し方、内容も上手になって、子供たちも楽しむことができた。 ●学生の読み聞かせの分担任や読み方に差があり、楽しめないことがあった。事前のチェックがほしい。
7	余目小学校	5月11日	運動会(1～6年 学級数7) ・会場準備・片付け ・記録写真撮影 ・駐車場整理 ・審判 ・各競技準備・片付け ・来賓接待	32	32	〇学校の敷地外に設けた駐車場の警備や高学年児童の競技の準備や審判など、学校の教職員だけでは手が回らない部分を支援していただき、大変助かった。
8		6月～11月 (3回)	きゅうり名人について調べよう(3年 学級数1) ・種まき ・花壇への植えかえ ・きゅうりパーティー	1	3	〇学区内で農業を行っている方から直接専門的な指導を受けることができ、きゅうりの栽培を大成功させることができた。地域の方に対する感謝の気持ちが強くなった。
9		6月12日 11月20日	町たんけん(2年 学級数1) ・各グループの引率	9	18	〇複数のグループに分かれて学区内の探検場所を訪問するため、担任だけではできない活動であった。保護者の方に各グループを引率していただき有意義な活動ができた。
10		9月～3月	図書ボランティア(3名) ・図書室整備、図書修繕	3	45	〇図書室の環境整備、蔵書点検、読書活動の推進(読み聞かせ等)などに手を貸していただき大変ありがたかった。いつも同じ方にお世話になっており、ボランティアに対する関心を高めていくことが課題となる。
11		9月22日	北信学習センター訪問(2年 学級数1) ・学習センター見学	0	0	〇初めて学習センターを利用する機会となる児童が多く、地域の公共施設を身近なものにする貴重な機会となった。学校から徒歩で移動するには少し距離がある。
12		9月15日 1月21日	ゲートボール名人に教えてもらおう(4年 学級数1) ・特支	3	6	〇全国大会出場の実績を持つ保護者に、ゲートボールのやり方を教えていただく、貴重な機会となった。丁寧に指導くださり、ゲートボールに関心を深めることができた。
13		9月15日	なかよく遊ぼう(特支1 学級数1) ・ゲートボール名人にゲートボールのやり方を教えていただく。	3	3	〇全国大会出場の実績を持つ保護者に、ゲートボールのやり方を教えていただく、貴重な機会となった。特支の児童の集中力が持続できるよう、時間の配分に工夫が必要だった。
14		12月12日	楽しくつろう(特支 学級数1) ・ペーパークラフト教室	1	1	〇保護者の方を講師に、普段はできないような大きな作品づくりに取り組むことができた。特支の児童の集中力が持続できるよう、時間の配分に工夫が必要だった。
15		矢野目小学校	5月9日 6月6日 9月24日	りんご受粉作業・成長の観察・収穫(3年生 2学級)	1	4
16	5月10日 7月16日		稲の生育の見学(米づくりに関して、水の大切さについての取材 5年生 3学級)	1	3	〇田植え体験から、米づくりの興味が高まり、農業の課題について考えるきっかけとなった。耳取川や田の水質を比較し、学ぶことができた。
17	6月19日 10月16日		矢野目地区の史跡巡り(東部・西部 6年生 2学級)	3	8	〇新道記念碑が2か所あり、迷った班があった。原田集会所でトイレを借りたが、史跡の話もしてもらえてよかった。
18	5校	7月29日	地域一斉クリーン活動	200		〇児童と保護者が一緒に活動できた。 ●夏季休業中とても暑く、実施時期や方法など検討が必要である。
19		6月～11月、3月の15日前後	朝のあいさつ運動(年7回)	140		〇生徒指導部を中心に行い、意識を高めることができた。 ●地域の一般の方への参加呼びかけは難しい。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	鎌田小学校	1月22日	1学年 3学級 コマ遊びやけん玉、お手玉遊び等の昔遊びの仕方を教えていただいた。	8	8	〇子ども達はボランティアの優しい指導のもと昔遊びの仕方を学び取り、その面白さを体感することができた。また、地域の方々との交流を図ることができた。
2	瀬上小学校	月1回程度	交通安全母の会の方、学習センターの方、地域の方、北信中学校の生徒のみなさん、瀬上小児童会の子どもたちと朝30分程度あいさつ運動を行った。		50	〇校内であいさつする児童が増えた。また、中学生をお手本にして頑張ろうとする高学年の姿が見られた。 ●教員の勤務時間前なので、勤務時間の調整・変更が必要
3		7月29日	北信地区地域学校協働本部事業の一環で、地域一斉クリーン活動を行った。小学生、中学生、保護者の方々、母の会や防犯協会、PTAの方々など、たくさんの方に参加していただいた。		95	〇活動を通して「きれいな街にしたい」「きれいな街を維持したい」という気持ちを強くすることができた。 〇集合時間を早めたことで、早めに解散することができた。暑い日の活動だったので、熱中症対策の観点からもよかった。 ●早朝でも暑いので、時期の検討が必要。
4	余目小学校	7月11日	地域交流活動(1～6年 学級数7) ・ニューススポーツ体験	23	23	〇長寿会の方々にお世話になり、学年ごとにニューススポーツを楽しむ機会を設けていただいた。今年度、総合・生活科で時間を設定したが、教科の目標に合わないため、来年度は3・4年生の総合の時間に、何回かに分けて時間を設定するような形に変えていきたい。

5		4月～3月	サポートルームの支援(集団生活につまずきをもつ児童への支援)	3	80	○サポートルームで過ごすことを目的に登校できる児童が増加した。
6		11月	家庭科(5年生3学級・6年生2学級 ミシンでの裁縫学習)	3	21	○製作するものや作業の状況に合わせて一緒に行ってもらい、全員が仕上げる事ができた。
7	矢野目小学校	6月26日	浴衣の着付け体験(4～6年生・クラブ活動)	3	3	○自分で浴衣を着ることができ、楽しく活動できた。
8		6月27日	茶道体験(4～6年生・クラブ活動)	3	3	○茶道を体験をすることができ、楽しく活動できた ●事前の打ち合わせや準備が十分にできなかった。
9		1月29日	昔遊び(1年生・生活科)	6	6	○おはじき・紙飛行機・けん玉・こま・あやとりなど、昔遊びを覚えてもらい、楽しく遊ぶことができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校からの要請に応じてボランティアを募り、学校と連携をとりながら支援を進めてきた。特に、矢野目小学校での着付け教室や茶道教室については、開催へ向けて期日までにボランティアを探るのが大変だったが、子供たちにとってとても有意義な体験活動となった。また、サポートルーム(保健室登校等児童の居場所作り)でのボランティアの存在により、毎週楽しみに登校する児童が増えた。

○地域代表委員(5名)の方に、北信地区5校の体験活動をそれぞれ1回程度視察していただき、各校の校長先生方も出席する年2回の本部会議において、北信地域学校協働事業に対して貴重なご意見をいただいた。

○学習センターで主催する文化まつりでは、各小中学生の作品展示だけでなく、音楽祭・芸能祭に北信中学生の合唱部、吹奏楽部、演劇部に参加してもらったり、家庭部に模擬店の手伝いをしてもらったりした。学校と地域の交流や、中学生の地域貢献へと結びつけることができた。

●ボランティア登録いただいても、学校への派遣につながらず、逆にボランティアの方から派遣への問い合わせをいただくことがあった。また、学校とボランティアの方の思いの相違から、ボランティアのやりがい薄れてしまうような事例もあった。

※学校側とボランティアの間で短時間でも打合せができるようにする。終わってからの簡単な感想を述べるだけでも良い。また、ボランティアリストを年度初めに各学校へ配付する。

5 活動、支援の様子



(瀬上小学校) 朝のあいさつ運動 (余目小学校)



浴衣の着付け教室(矢野目小学校)



(矢野目小学校) クリーン活動 (鎌田小学校)



地域交流活動(余目小学校)



白雲祭視察(北信中学校)



茶道教室(矢野目小学校)



ミシン学習補助(矢野目小学校)



センター見学(余目小学校)



白雲祭視察(北信中学校)



茶道教室(矢野目小学校)



ミシン学習補助(矢野目小学校)



昔遊び(鎌田小学校)



昔遊び(鎌田小学校)



昔遊び(矢野目小学校)



昔遊び(矢野目小学校)

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.9	吉井田学習センター
対象校	吉井田小学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	吉井田小学校	9月20日	総合的な学習の時間・荒川の水質調査及び生物調査 (5年生3学級・水質調査及び生物調査の補助)	3	3	児童は、ボランティアの補助を受けて、意欲的に調査活動に取り組むことができた。
2		1月23日	総合的な学習の時間・土湯こけしを知ろう (4年生3学級・土湯こけしの説明と絵付け体験補助)	2	2	児童は、絵付け体験を通して、土湯こけしに対する理解を深めることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	吉井田小学校	6月17・21・27・28日	家庭科授業・ミシン操作の補助 (6年生2学級・トートバックの制作)	7	11	▲ボランティアの方は作品をきれいに仕上げさせてあげたいが、授業時間が限られているため最後まで面倒をみてあげることができない。
2	吉井田 清明小学校 岳陽中学校	10月31日	中学1年生が出身小学校での朝のあいさつ運動	3	3	町会連合会長や交通安全母の会会長も参加し、中学生と一緒に小学生に声をかけることができた。
3	吉井田小学校	11/12.14.15. 18.19.21.26. 28	家庭科授業・ミシン操作の補助 (5年生3学級・エプロンの制作)	7	25	▲家庭科の授業でのミシンの指導については、各担任(担当)により、縫い方の手順や方法などに違いがある部分もあり、ボランティアの方々が戸惑う場面もあった。
4		11月21日	学習センター見学 (2年生3学級・図書室を含む館内見学及び学習センターの説明・少年教室の活動の紹介・図書の貸出)	0	0	2年生全員分の福島市立図書館の貸出券を準備し、事前に学校に学校に届けておいたことで、児童一人一人が図書室から本を借りる体験をすることができた。
5	附属特別 支援学校	11月22日	学習センター見学 (小学部2年生・図書室利用・図書の貸出)	0	0	身近にある施設を利用し、施設の人たちとする体験ができた。
6		12月4日	ボランティア清掃活動 (高等部の学生による職業訓練を兼ねた活動)	8	8	学校で訓練していた作業を公共の場所で実際に実施する職業体験ができた。
7	吉井田小学校	12月11日	音楽科授業・和太鼓の実演と体験指導 (4年生3学級・和太鼓の演奏体験指導)	4	4	数多くの和太鼓を準備し、クラスの半数の児童が同時に演奏することができた。演奏するグループと鑑賞するグループが交互に繰り返し演奏体験をすることで興味をもち意欲的に体験することができた。
8		1月23日	生活科授業・つるし雛 (2年生3学級・つるし雛の説明と制作指導)	1	1	▲つるし雛の講師の方が事前に準備する物が多く、負担感がある。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○学校と連携を密にして地域人材のマッチングを図ることができた。

○児童から学習センターへお礼のパネルによる感謝の言葉が寄せられた。

●学習ボランティアの高齢化が進み、人材の育成・発掘が求められる。

※地域の関係団体と連携を密にして人材の育成・発掘にあたる。

5 活動、支援の様子



6月 ミシンボランティア(6年生)



11月 ミシンボランティア(5年生)



10月 あいさつ運動(中学1年生)



11月 学習センター見学(2年生)



12月 音楽科授業「和太鼓」(4年生)



1月 つるし雛(2年生)

令和 6 年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.10	西学習センター
対象校	荒井小学校、佐倉小学校、佐原小学校、西信中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	荒井小学校	7月4日	1学年2学年・各1学級 読み聞かせ	2	2	とても楽しいお話を聞くことができました。
2		12月12日	1学年2学年・各1学級 読み聞かせ	2	2	いつもたくさんのお話を聞き、子どもたちも大満足だった。
3		12月11日	5学年・1学級 米粉クレープ作り体験(JA)	4	4	丁寧に教えていただき、貴重な体験となった。
4		1月21日	6学年・1学級 こんにゃく作り体験(JA)	5	5	こんにゃくが芋から出ることを初めて知った児童もいた。
5		2月20日	1学年2学年・各1学級 読み聞かせ	2	2	子どもたちはいつも楽しいお話を楽しみにしている。
6	佐倉小学校	5月16日	5学年・1学級 育苗ハウスの見学	1	1	稲の苗がどのように育てられているのを知ることができた。
7		5月20日	5学年・1学級 田植えの指導	3	3	初めて素足で田んぼに入って田植えを行った。先人たちの作業を体験し、その苦勞を知ることができた。
8		6月21日	6学年・1学級 地域の歴史、現地説明会	2	2	地域の名所旧跡を、地域の方の説明をもとに見学することで、歴史への関心が高まった。
9		6月27日	4学年・1学級 荒川環境学習	3	3	荒川の水质を調べたり、荒川に生息する生き物を観察したり、意欲的に活動することができた。
10		9月27日	4学年・1学級 稲刈り、脱穀の指導	3	3	手作業で稲を刈る体験ができた。稲刈りから脱穀まで機械で行う様子を間近に見学することができた。
11		11月27日	5学年・1学級 収穫祭	1	1	14年ぶりに米作りを行った。収穫した米をおにぎりにし、指導の先生方と一緒にその喜びを味わった。
12		12月13日	3～6年 書き初め教室	4	4	運筆や文字のバランス、名前書き方等について指導をいただき、書初めへの意欲が高まった。
13		年33回	全学年・1学級 図書読み聞かせ(ローテーション)	5	18	図書への関心が高まり、進んで読書をするようになった。落ち着いて、相手の話を聞けるようになった。
14	佐原小学校	月1回	全校生・3学級 本の紹介と読み聞かせ	3	25	本に興味をもち、読書に対する意欲が向上し、読書量が増えた。
15		12月16日	6学年・1学級 卒業生制作 陶器づくり	1	1	「和み」工房の尾形和夫さんの支援により、卒業記念となる陶器を作ることができた。
16		年4回	3・4学年・1学級 米作り(田植え・かかし作り稲刈り)	2	4	田植えから稲刈りまでの体験活動ができ、米作りの工夫や苦勞を実感し、米作りについて学ぶことができた。
17	西信中学校	4月15日	1学年・2学級 酒米の種もみ植えの体験	5	5	本校学校評議員が会員でもある「あづまの里荒井づくり連絡協議会」の全面的なバックアップを受けることができ、活動の目的に沿って年間の活動計画を立てることができた。
18		5月13日	1学年・2学級 第一次産業についての講話 酒米を例とした稲の栽培について	2	7	学習に必要な講師の紹介を受けることができた。
19		5月28日	1学年・2学級 酒米の田植え体験活動	5	12	生徒が講話で学んだことを体験することで、学習の意味を理解することができた。
20		7月17日	3学年・2学級 職業人に聞く会の実施 進路選択の時期や仕事のやりがいや思いについての講話	8	20	講師8人を迎え、小グループでの活動とすることで、双方向性の学習をすることができた。進路選択の時期であり、将来の生き方についてかんがえるきっかけとすることができた。
21		9月19日	1学年・2学級 酒米の稲刈り体験活動	7	27	生徒が講話で学んだことを体験することで、学習の意味を理解することができた。
22		9月24日	1学年・2学級 第二次産業についての講話 米を加工する日本酒造りについての講話	2	29	実際に植えて刈って収穫した米を加工する酒造会社の方を講師に迎えたことで、生徒の学習に対する意識が高まった。
23		11月14日	1学年・2学級 第三次産業についての講話 原材料を加工して商品化・販売までについての講話	2	31	生徒はものづくりと経済活動について知ることができた。
24		11月28日	1学年・2学級 酒造工場(金水晶)の見学	3	34	実際に物づくりが行われているところを見ることができ、今までの学習と結び付けることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	荒井小学校	4月26日	5学年・1学級 種まき・田おこし	2	2	丁寧に教えていただき、貴重な体験となった。
2		5月30日	5学年・1学級 田植え	4	4	初めて入る田んぼの感触に感動した児童が多くいた。
3		7月9日	5学年・1学級 草取り	1	1	暑い中での草取りの大変さを実感できた。
4		10月10日	5学年・1学級 かかし立て	2	2	個性あふれるかかしをグループごとに作成して、立てることができた。
5		11月12日	5学年・1学級 稲刈り	1	1	たくさん実った稲を刈り、収穫の喜びを実感した。
6		11月29日	5学年・1学級 脱穀	1	1	機械にかけてもみの状態にした。もみを手ですくって感触を確かめた。
7		12月5日	5学年・1学級 お米の学習発表会	3	3	1年間の学習の成果を発表した。
8	佐倉小学校	1月22日	1・2年昔遊び交流会	4	4	お手玉やあやとりなどを教えてもらった。地域の方とコミュニケーションをとり楽しく活動できた。
9	荒井小・佐倉小・ 佐原小・西信中	10月19・20日	西地区文化祭への作品出品	70	70	西地区幼小中の作品を展示した。
10		10月20日	西地区文化祭ピアノ発表	8	8	ハワイ移民の方から送られたピアノを使っての発表会を行い、多くの地域住民に聞いていただいた。
11	西信中学校	10月19・20日	西地区文化祭受付ボランティア	5	8	文化祭の受付等を地域住民とともにいった。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○各学校で進めている学習や体験活動に対して、学校と連携を取りながら支援を進めてきた。学習センターがコーディネートした支援以外にも、学校へ出向き活動の状況を観察したり、講師として手伝ったりした。学校、地域、学習センターが情報を共有して教育活動の支援を行うことができた。

○学習センターで主催する文化祭では、各小中学生の作品展示だけでなく、ピアノ演奏会に参加してもらったり、中学生に受付ボランティアを依頼したりすることで、小中学生が地域住民と関わったり、小中学生の活動の様子を地域に発信したりできる場となった。※文化祭の場を通して、学校と地域との交流や中学生の地域貢献へと結び付けることができた。さらに、小中学生が地域の方々と関わりながら、地域貢献を果たしていけるように活動の場を検討していく。

●※ボランティア登録いただいても、学校への派遣に繋がらないこともあった。学校のニーズを把握し、積極的な活用につなげていく。

5 活動、支援の様子



文化祭での受付ボランティアの様子



文化祭でのピアノ演奏会の様子



登録ボランティアによる書初め指導



登録ボランティアによる昔遊び指導



登録ボランティアによる米づくり指導

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.11	信陵学習センター
対象校	大笹生小学校、笹谷小学校、信陵中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大笹生小学校	4月12日	交通教室(全学年・6学級・委嘱状交付、交通安全に関する講話)	1	1	警察からの具体的な指導により、安全意識を高めることができた。
2		4月25日	りんご栽培体験の学習(3年・1学級・りんご栽培学習の活動支援) 他2日(10月・12月)	1	3	りんご栽培の体験を通して、地域の特色やよさを考えることができた。
3		4月26日	春の遠足(全学年・6学級・遠足の活動支援)	3	3	学習センターの協力ののもと、十六沼のグラウンドで充実した活動を行うことができた。
4		5月17日	防犯教室(全学年・6学級・防犯に関する講話)	4	4	警察からの具体的な指導により、防犯意識を高めることができた。
5		6月13日	食育の授業(1年・1学級・食育に関する学習支援) ※他、全学年で実施	2	6	栄養教諭と栄養士による指導のもと、食に関する知識・技能を高めることができた。
6		6月14日	生誕会との交流学習(6年・1学級・お年寄りとの交流活動支援) ※4年生でも11月に実施	多数	多数	お年寄りとの交流活動を通して、人とのかけがえの大切さを学ぶことができた。
7		6月17日	大笹生支援学校との交流学習(3年・5年・2学級・支援学校の児童との交流活動支援) ※11月にも実施	多数	多数	2回の交流活動を通して、友達とかかわることの大切さを学ぶことができた。
8		6月18日	租税教室(6年・1学級・税金に関する学習支援・指導)	1	1	法人会の講師から、税金に関する指導をいただき、社会科の学びを深めることができた。
9		6月26日	メグミルク店の見学(2年・1学級・お店の仕事に関する学習支援)	1	1	地域探検の一環として、地域のお店を見学し、地域の様子についての学びを深めた。
10		7月12日	農家見学(3年・1学級・農家の仕事に関する学習支援)	2	2	地域の農家を訪ね、直接話を聞くことで、社会科の学びを深めることができた。
11		7月18日	メディアと健康教室(3～6年・4学級・メディアとの健康的なかわりについての指導支援)	2	2	保健所から講師を招き、メディアとの健康的なかわりについて具体的に学ぶことができた。
12		9月3日	避難訓練(全学年・6学級・防火、消火、避難に関する指導)	2	2	飯坂消防署員に避難訓練に立ち合ってもらい、職員や児童に直接指導を受けることができた。
13		9月13日	下校付添パトロール(全学年・6学級・下校指導支援) ※全5日間実施(9～11月)	10	20	地区健全育成推進会の事業として、下校付添や通学路の安全点検を実施した。
14		10月14日	道の駅見学(3年・1学級・店の仕事に関する学習支援)	2	2	ぶくしま道の駅の店を見学し、販売について学習することで、社会科の学びを深めた。
15		11月12日	大福寺見学(2年・1学級・地域学習の一環としての学習支援)	1	1	地域探検の一環として、地域のお寺を見学し、地域の様子についての学びを深めた。
16		11月14日	菊地製作所見学(6年・1学級・地域に学ぶ学習の一環としての学習支援)	5	5	学区にある製作所を見学することで、地域に学ぶ学習を充実させることができた。
17		11月19日	栗本堰の見学学習(4年・1学級・栗本堰に関する学習支援)	7	7	栗本堰の見学や実験等を通して、社会科の学びを深めることができた。
18		11月20日	スカイパーク見学(6年・1学級・地域に学ぶ学習の一環としての学習支援)	3	3	スカイパーク見学を通して、地域の特色やよさを考えることができた。
19		11月26日	ふれあい体験活動(全学年・6学級・地域の方とのふれあいを通じて体験活動を行うための学習支援)	8	8	地域の方々とのふれあいを通して、充実した体験活動を行うことができた。
20		12月17日	ジャムづくり体験(3年・1学級・りんごジャムづくり体験のための支援)	3	3	JA職員等を招き、収穫したりんごを使ってジャムづくりを体験し、学びを深めた。
21		1月29日	薬物乱用防止教室(6年・1学級・薬物乱用防止に関する指導支援)	1	1	学校薬剤師から薬物乱用防止に関する指導をいただき、学びを深めることができた。
22		1月31日	認知症サポーター養成講座(6年・1学級・認知症サポーター養成のための指導)	4	4	地域包括支援センターの方々から、認知症に関する指導をいただき、学びを深めた。
23	笹谷小学校	4月23日～2月28日	3年(3学級) リンゴ栽培についての指導 ※果樹農家 計6回	1	18	リンゴ栽培についての学習を通して、笹谷地区の特色を理解することができた。
24		10月26日	3年(3学級) 消防活動の説明、放水訓練の見学 ※地域消防団	6	18	地域の安全を守っている消防団の方々から話を聞いたり、訓練の見学をしたりすることで、防火の仕事の大切さについて理解することができた。
25		10月26日	4年(4学級) 栗本堰についての学習 ※福島市土地改良区職員	1	3	用水路についての学習を通して笹谷地区の特色について理解を深めることができた。
26		11月27日	3年(3学級) リンゴジャム作りの指導 ※JA職員、女性部	6	18	笹谷地区の特産であるリンゴを使ってジャム作りをすることで、豊かな自然環境や食、地域理解につなげることができた。
27	信陵中学校	4月12日	【事故防止教室】福島北警察署員の方に来校していただき、自転車交通安全について講話をいただいた。	1	1	年度はじめに自転車の乗り方や交通ルールの確認を警察の方からお話いただくことで、全校生徒の事故防止の意識を高めることができた。
28		5月23日	【防犯教室】福島北警察署員の方に来校していただき、携帯電話やインターネットの正しい知識や使用方法について講話をいただいた。	1	1	大きな社会問題となっているサイバー犯罪の重大さや未然防止について講話をいただくことで、全校生徒の意識を高めることができた。
29		7月1日～7月5日	【職場体験】福島市内の事業所(57事業所)で、2年生が職場体験活動を実施した。	約100人	約100人	学校を離れ事業所で活動することにより、勤労やコミュニケーションについて学ぶことができた。キャリア教育の一環としても意義のある活動であった。
30		9月6日	【避難訓練(火災)】飯坂消防署員の方に来校していただき、火災想定避難訓練を実施した。消火器の扱い方についても確認することができた。	2	2	生徒の訓練という視点だけでなく、教師がどのように生徒を避難、誘導させることができるかの訓練であるということを理解することができた。

31	信陵中学校	9月13日	【職業人に聞く会】福島市内の事業所(8事業所)の方々に来校していただき、1年生を対象に、それぞれの職業の実際について講話をいただいた。	15	15	様々な職業の方に来校していただき、その仕事の大変さややりがいについて講話をいただいた。次年度の体験活動につながる有意義な会となった。
32		9月19日	【薬物乱用防止教室】学校薬剤士の先生に来校していただき、3年生を対象に薬物の種類や使用した際の依存症や健康被害について講話をいただいた。	1	1	専門家から社会の実態や使用した際の危険について講話をいただくことで、より危機意識を高めることができた。
33		10月3日	【性に関する講演会】保健師と助産師の方に来校していただき、3年生を対象に、性感染症や10代の妊娠の実態について講話をいただいた。	7	7	性感染症や10代の妊娠の実態について、社会の実態を知ること、軽率な行動が今後の人生のリスクとなることを実感することができた。
34		11月8日	【健康教育講演会】本校スクールカウンセラーに来校していただき、1年生を対象に心の健康について講話をいただいた。	1	1	人が生きていく中で、心が疲れていく場面は多々あるため、リフレッシュする方法やストレス発散の方法を自分なりにもっておくことが重要であると知ることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	大笹生小学校	10月5日～10月6日	地区文化祭での作品展示	0	0	各学年1点の作品を展示し、地域の方に見ていただいた。
2	笹谷小学校	9月2日・9月5日	2年(2学級)生活科での学習センター見学	2	4	事前に連絡を取り、円滑に進めることができた。
3		10月6日	合奏部(30名)地区文化祭への参加	0	0	文化祭での発表は、子どもたちにとって貴重な経験となった。
4	信陵中学校	9月4日・11月16日・2月19日	信陵学習センターの切り絵クラブの方3名に来校していただき、サポートルームの生徒と切り絵活動を行っていた。	3	4	サポートルームの生徒を対象に、上手に切り絵を仕上げるアドバイスを丁寧にしていただいた。優しい声かけをしていただき、生徒と良いコミュニケーションが取れていた。
5		10月5日	信陵地区文化祭のコンサートに、吹奏楽部と合唱部が参加した。	27	27	日頃の練習の成果を発揮する貴重な経験となった。信陵地区の住民の方に向けて成長した姿を披露することにより、地域とのつながりをもつことができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○面談で学校の状況や本事業に対する考え、今年度の見通しについて共通理解を図ることができた。

○各学校では、地域ボランティアを活用した独自の地域学校協働活動を数多く行っている。

○学校からの支援要請は、中学校のサポートルームの学習支援と小学校の学習センター見学での支援の2件にとどまったが、要請を受けたものについては、目的に沿った授業支援を進めることができた。

○地区文化祭での合唱・合奏・吹奏楽の発表や作品展示を多くの地域の方に見ていただき、地域交流の一環とすることができた。

●事業の趣旨や活動の様子について地域に発信することができなかつた。地区だよりでの紹介や館内掲示などを検討していきたい。

5 活動、支援の様子



サポートルームでの切り絵指導
(信陵中学校)



学習センター見学
(笹谷小学校)



地区文化祭での作品展示
(大笹生小学校)



地区文化祭での発表
(信陵中学校・笹谷小学校)

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.12	飯坂学習センター
対象校	飯坂小学校、平野小学校、湯野小学校、大鳥中学校、平野中学校、西根中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯坂小学校	5月9日	5～6年・3学級 飯坂町鼓笛パレード	8	8	保護者交通整理ボランティアの協力をいただき、鼓笛演奏の発表とパレードを行った。
2		5月31日	4年・2学級 館の山散策、オリエンテーリング	2	2	森の案内人から、飯坂の自然とのふれあいや活動を通して楽しさやすばらしさを感じ取った。
3		5月31日	3年・1学級 旧堀切邸散策	3	6	保護者引率ボランティアの協力で、旧堀切邸内を散策し、体験活動を行った。
4		6月13・17日 11月27日	2年・2学級 町たんけん	4	12	保護者引率ボランティアの協力で、飯坂町内を探検し、飯坂町の施設を見学、体験活動をした。
5		6月19・26日 9月4・18日・10月2日 11月20日・2月12日	1～6年・12学級 読み聞かせ	3	21	学級の実態に応じた本を選んでいただき、読み聞かせを実施した。
6		6月21日	5年・2学級・飯坂町フィールドワーク	10	10	保護者引率ボランティアの協力で、子供たちが計画した「飯坂町魅力満喫プラン」によるフィールドワークを通して、施設見学、体験活動をした。
7		8月29日	3～4年・3学級 伝統芸能流し踊り体験	10	10	伝統芸能「流し踊り」について特別授業を実施。飯坂の伝統芸能に触れる貴重な機会となった。
8		9月6日	3年・2学級 つるし雛づくり	7	7	地域の伝統である「つるし雛がざり」に向けて展示するつるし雛づくりを行った。
9		9月11日	3～4年・3学級 敬老会	0	0	敬老会のアトラクションに参加、校歌を披露した。
10		10月4日	1～6年・12学級 飯坂けんか祭り体験	20	20	地元の町内会の協力をいただき、山車を見たりひいたりする体験を通してけんか祭りへの関心を高めた。
11		2月14日	3年・1学級 つるし雛がざり オープニングイベント	0	0	つるし雛飾りオープニングイベントに参加、児童の作品を展示していただくと共に、校歌を披露。
12	平野小学校	6月5日	3年・3学級 リンゴの摘果体験	4	4	毎年総合的な学習で実施。地域産業に目を向けるきっかけとなっている。
13		6月13日	2年・2学級 町たんけん	20	20	保護者引率、補助を受けながら個々の課題に沿って活動した。
14		6月14日	6年・2学級 飯坂町フィールドワーク	0	0	同じ町内だが、なかなか行く機会のない飯坂地区をフィールドワークした。
15		6月25日	2年・3学級 読み聞かせ	5	5	図書ボランティアによるお話し会。
16		6月25日	3年・3学級 もも、なし畑の見学	4	4	毎年総合的な学習で実施。地域産業に目を向けるきっかけとなっている。
17		7月7日	全学年・希望者 平野ふるさと体験	40	40	青少年健全育成による継続行事。
18		7月12日	1～2年・6学級 交通安全指導	5	5	ヤマト運輸による安全指導。トラック運転の立場から背の低い児童への安全喚起
19		8月23日	3年・3学級 平野選果場見学	4	4	12に同じ
20		9月3日	4年・3学級 水道出前教室	10	10	水環境を守る会、井野目堰保存会による。地域にある井野目堰について学ぶ機会となっている。

21		9月18日	2年・3学級 町たんけん	12	12	保護者引率、補助を受けながら個々の課題に沿って活動した。
22		9月24日	3年・3学級 なしの収穫体験	4	4	12に同じ
23		10月13日	特設音楽部 平野地区運動会	20	20	今年度から小中合同バンドとして参加(特設合奏部OB、OG)
24		10月22日	3年・3学級 リンゴ畑の見学	5	5	12に同じ
25		10月30日	6年・2学級 アスリート派遣事業(ラグビー協会)	2	2	ラグビー協会 大野均氏によるラグビー授業
26		11月7日	4年・3学級 トヨタ未来スクール事業	8	16	近隣のトヨタ関係者関係者によるプログラミング体験。2日分けて実施。個々に体験キットが準備され、貴重な機会となった。
27		11月11日	3年・3学級 りんごジャムづくり	6	18	J A婦人部が講師となり、3日に分けて実施。地元の食材を活用した学習。
28	平野小学校	11月15日	3年・3学級 飯坂消防署・飯坂学習センター見学			地域について学ぶ機会となった。
29		11月15日	全校生・17学級 健康講座	2	2	県立医大准教授による健康講座。全校集会時に実施。コホート調査をもとにした健康指導。2年目
30		12月3日	特別支援学級 大笹生支援学校との交流			平野地区に共住する児童との居住地交流
31		12月21日	特設音楽部 はなひらのクリスマスコンサート	10	10	保護者ボランティアあり。施設入居者との交流。2年目
32		1月19日	特設音楽部 こむこむコンサート	20	20	こむこむコンサート。市民との交流ができた。
33		1月25日	5年・3学級 トヨタ未来スクール事業	9	18	26に同じ
34		1月30日	4年・3学級 認知症サポート養成講座	15	15	社会福祉協議会等による講座。毎年、総合的な学習で実施。
35		月1回程度	平野中学校生徒との合同あいさつ運動			19日を基本として月1回程度実施。
36		9月25日	教員のための地域研修(教員3名)	1	1	児童に指導する前に、地域学習をすることで、地域への愛着だけでなく児童と共に地域を学んでいく姿勢が身につき、児童の指導へ生かすことができた。
37	湯野小学校	10月4日	全校生 全校なかよしオリエンテーリング	1	1	縦割り班で異学年との交流をしながら、地区の名所や史跡について学び、地域への理解を深めることができた。ボランティアの見守りもあり、安心して活動することができた。
38		10月16日・11月8日	1年 愛宕公園学習	2	2	公園やその周辺の歴史や自然について地域の方に分かりやすく教えていただいたことで、児童は地域や自然により一層の愛着をもつことができた。また、地域を深く知ることで地域を大切に誇りに思う機会ともなった。
39		6月27日	1.2学年 防災教育講話	1	1	地区の消防署員による飯坂地区における取組や身近なものでできる応急処置の仕方など、防災について学習することができた。
40	大鳥中学校	7月16日	3年・2学級 福祉活動	4	4	福祉体験を通して、福祉に対する興味・関心を高めることができた。地域の実情を知り、身近にいるお年寄りに対し接し方を工夫しようとする生徒が増えた。
41		5月20日～10月19日	特設剣舞部 八幡神社例大祭の剣舞奉納及び文化祭での剣舞披露(全10回)	1	10	八幡神社秋季例大祭や鵜瀨祭で多くの方の前で発表出来たことは生徒たちの大きな自信につながった。1年生の参加人数も増え、堂々とした発表ができた。

42	大島中学校	8月30日～10月19日	特設太鼓部 八幡神社例大祭の太鼓奉納の補助・ 文化祭での飯坂太鼓演奏（全7回）	3	21	保存会の方との練習を通じ、自主的に活動する生徒が増えた。八幡神社秋季例大祭や鵜飼祭で多くの方の前で迫力ある発表ができ、自己肯定感につながった。
43	平野中学校	4月22日・5月8日 11月25日・12月12日	1年 3学級 果樹栽培体験学習	1	4	地域の特産品等について理解を深めた。
44		7月3日	3年 3学級 認知症サポーター養成講座	10	10	地域の一員としての意識を高めることができた。
45		10月13日	全学年・希望者 平野地区運動会	多数	多数	運動会運営補助を通して、地域の一員としての意識を高めることができた。
46		4月～3月	全学年（サポートルーム登校生） サポートルーム支援	3	40	サポートルーム支援により、教師が生徒と向き合う時間の確保や教育の質の向上につながった。
47	西根中学校	4月24日・9月11日・ 11月6日	1年 1学級 生産体験活動	13	39	J A職員や地域の果樹生産農家が講師として参加することで専門的な知識や技術を学ぶことができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯坂小学校	11月9日	1～6年 29名	多数	多数	飯坂総合文化祭に作品展示をし、地区の方々に鑑賞していただいた。
2		11月14日・15日 18日・21日 22日・29日	5～6年・3学級 ミシン補助 (ミシンの糸掛け等)	3	6	ミシン操作の支援を受け、熱心に制作活動に取り組むことができた。
3	平野小学校	11月9日	特設音楽部 18名	0	0	飯坂総合文化祭で演奏を発表し、地区の方々と交流した。
4	湯野小学校	9月19日	6年・1学級	1	1	きめ細やかで丁寧なミシン操作の指導により、どの児童もトートバッグ作成に取り組むことができた。
5		9月25日	5年・1学級 調理実習指導の補助	1	1	安全に配慮した、個に応じた指導支援により、どの児童も安心して調理実習に取り組むことができた。
6		10月31日	5年・1学級 摺上川における流水の働きについての現地解説	1	1	実際に川やダムを見ながら詳しい説明をいただいたことで、川の流れについて多面的に考えながら学習することができた。
7		11月5日	5年・1学級 ミシンの扱い方の補助	1	2	きめ細やかで丁寧で、個に応じたミシン指導のおかげで、エプロンを作成することができた。
8		2月16日	全学年・希望者 湯野子どもの集い (青少健・学習センター共催)	20	20	地域を思う気持ちを喚起する標語や川柳の募集により、改めて地域への思いを持つことができた。
9	大島中学校	6月24日～28日	2年・2学級 職場体験活動	22	110	学区内や近隣地域の多くの事業所の協力により仕事の楽しさや大変さを味わうことができた。
10		7月3日	1年・2学級 職業人に学ぶ会	4	4	地元で活動している方や企業の講話を興味を持って聞くことができた。働くことの意義や目的などを具体的に学ぶと共に、自分の生き方を考えることができた。
11		9月19日 10月3日	2年・2学級 家庭科ミシンの授業補助	1	2	ミシン使用時の支援や安全確認などができた。免許外教諭が授業を行っているため活動支援のおかげで活動がスムーズに行われ、負担軽減につながった。
12		11月9日	1, 2年・芸術部 飯坂総合文化祭準備補助	多数	多数	文化祭のパネル設置・片付けの手伝いをし、地区に貢献できた。
13		11月25日 11月27日	1年・2学級 家庭科調理実習の授業補助	2	2	調理する際の支援や安全確認などができた。調理実習で火や包丁を使用するため、学習支援が効果的であった。
14	平野中学校	7月1日～5日	2年・3学級 職場体験活動			学種センターに職場体験訪問先の調整をしていただき、教師の負担軽減となった。
15		12月7日	全学年・文化部 平野地区展覧会準備補助	多数	多数	地域の一員としての意識を高めることができた。

16		9月2日～6日	2年・1学級 職場体験活動			職場体験先の調整をしていただき、生徒が有意義な活動をすることができた。
17	西根中学校	6月26日・7月16日 8月27日・9月24日 10月29日・11月26日 12月17日・1月28日 2月25日・3月11日	1、2年・2学級 読み聞かせ	2	20	地域住民がボランティアとして参加することで地域の人材を教育活動に生かすことができた。学校だけでは提供できない多様な視点や経験が、生徒の学びを豊かにすることができた。読み聞かせを通して、生徒が読書の楽しさを知り、読書習慣を育むことにつなげることができた。 継続的に読み聞かせを実施するためには、安定したボランティアの確保が必要である。
18		2月16日	1、2年・希望者 湯野子どもをつどい (地区青少健・飯坂学習センター共催)	多数	多数	準備、司会進行、発表、後片付けを積極的に行った。地区の住民たちとふれあい、地域に元気な姿を発信した。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

	項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○地域とのつながりが密で、それぞれの学校で地域人材を生かした独自の協働活動を数多く行っている。
 ○総合文化祭や地区の展覧会等の幼・小・中学校の作品展示や発表、中学生による会場設営の手伝いなどを通して、地域の方々との交流を深めることができた。
 ○各小中学校からの授業補助ボランティアの依頼が多くあり、要望に応じた派遣が実現すると共に、新たな人材発掘もできた。
 ○小中学校合同でのあいさつ運動の実施が実現し、小中連携の一助となり、また、地域にも子供たちの元気な姿を見ることができた。
 ●長年活動しているとなれ合いになってしまうところがあり、準備や連絡に不備が生じる。毎回、打ち合わせを持つことが大切だと思う。
 ●学校が忙しいことは承知しているが、急な依頼だとボランティアの方の都合がつかないこともあるので、早めに依頼をいただけるとありがたい。
 ●日中のボランティアに協力できる人材に限られてしまう(高齢者が多くなる)ので、今後、人材確保をどう確保していくべきか。
 ※ボランティアに入ってもらう前に、授業者とボランティアとの打ち合わせがあるとさらに支援内容が充実したものになるのではないかと感じた。

5 活動、支援の様子



職業人に学ば会(大鳥中学校)



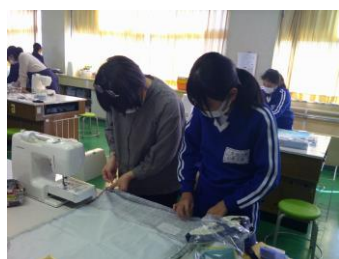
家庭科ミシン補助(大鳥中学校)



家庭科ミシン補助(湯野小学校)



家庭科調理実習補助(飯坂小学校)



家庭科ミシン補助(飯坂小学校)



飯坂総合文化祭
開会式(平野小学校)



湯野世代間交流事業
(西根中学校・湯野小学校)

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.13	松川学習センター
対象校	松川小学校、金谷川小学校、下川崎小学校、松陵中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松川小学校	4.18~3.18	1年2学級・2年3学級(朝の読書の時間)読み聞かせの会「つばさ」による本の読み聞かせ	3	30	季節等に合わせた絵本の読み聞かせをしていただき本に親しむことができた。
2		5月2日	5年2学級(総合)育苗センターの見学と苗の生育の説明	4	4	地域の方に米の種類や苗の育て方を教えていただき、コメ作りへの意欲が高まった。
3		5月15日	5年2学級(総合)田植え体験	7	7	地域の方に田植えの仕方を知ることができ、充実した活動となった。
4		8月27日	6年2学級(総合)認知症サポーター養成講座の受講	3	3	身近な人が認知症になった時にどのようなことができるのかを学んだ。ロールプレイなどの活動ができるとよかった。
5		9月26日	5年2学級(総合)稲刈り体験	6	6	地域の方に手作業での稲刈りの仕方を知ることができ、充実した活動となった。
6		11月7日	3年3学級(総合)小鳥の森指導員との葉箱作りと土合館公園に設置する活動	15	15	自分たちで葉箱を作り、土合館公園に設置する活動を行った。森林の大切さを知る学習ができた。
7		11月14日	6年2学級(総合)土合館公園での森林環境学習	10	10	土合館公園の自然環境について学習し、その良さを再認識することができた。
8		12月13日	3年3学級(総合)小鳥の森職員から白鳥の生態について話を聞いた。	2	2	自分たちにとって身近な存在である白鳥の生態を知り、松川や水原川の自然環境を守っていくという意欲が高まった。
9	金谷川小学校	5月~2月	1・2年2学級16名(朝の時間)月に1度ずつ読み聞かせボランティアによる読み聞かせを聞いた。	2	17	図書に親しむことができた。
10		6月13日	全児童6学級59名(全校お話し)上下学年の2回に分けて、1時間ずつ読み聞かせ・紙芝居・手遊び等を聞いた。	8	8	図書に親しみ、物語の楽しさを味わうことができた。
11		4.26 6.11 10.11.1.21	4年12名(総合)果樹園でのリンゴ栽培の作業(摘花・摘果・葉つみ・収穫)を聞き、お話を聞いた。	1	4	リンゴ栽培に係る農作業の意味と重要性を知り、農作業の体験を通して理解を深めることができた。
12		6.17 7.3	3学年10名(総合)地域の神社(八幡神社・黒沼神社)を見学し氏子の方からお話を聞いた。	5	5	神社の由来とそれを守る地域の方々へのつながりや努力について理解を深めることができた。
13		12月11日	4~6年33名・浅川トンネルの工事現場で工事の進め方についてのお話を聞き、掘削現場や作業機械を見学した。	10	10	地元で建設されるトンネル建設についての理解を深めることができた。
14	下川崎小学校	11月7日	1・2年(生活)木工クラフト体験	1	1	生活科の経験を生かし、児童の実態に合った内容で楽しく作品作りができた。
15		11月7日	4年(総合)福祉体験「ヘルパーステーション ウィズ」見学	6	6	高齢者の方々との交流を通して、高齢者の状況や思いを理解することができた。
16		11月7日	6年(総合)地域の歴史巡り	1	1	地域に対して新たな気づきや発見があり、地域をより大切にしようとする心情が高まった。
17		11月27日	2年(生活)まちたんけん「オカリナ教室」見学	1	1	地域で「オカリナ教室」を開いている方のご自宅を訪ねた。地域の方々との交流を通じ、地域への親しみや愛着を持たせることができた。
18	松陵中学校	5月23日	生徒による閉校プロジェクト意見交流会 ・生徒会が中心となり生徒が企画する閉校プロジェクトの企画・運営について、地域や卒業生、PTAの方に説明するとともに、その実現向け多くの意見をいただいた。 ・商工会長・自治振会長・歴代PTA会長・学校評議員等	25	25	閉校プロジェクト実現に向けて皆さんの意見や助言をいただいたことで、生徒は地域の方々に対する感謝の気持ちがより一層高まることにも、母校に対する愛着が深まった。また「企画・運営する」という資質能力の育成にもつながった。この意見交流から、地域の「あじさい小路」「朝市」での活動に広がりを見せ、地域とともにある学校の実現に向けて効果が見られた。
19		10月1日	グローバルコミュニケーション講座 ・グローバル化する社会において、様々なバックグラウンドを持つ相手と互いの意見を伝えあうコミュニケーションを学ぶことをねらいとし、国際理解とともに他者との関わり方の基本を学んだ。 ・プリジストン株式会社・NPO法人起業教育研究会	2	2	世界との文化や考え方の違いを理解できた。また、その違いを認識したうえでコミュニケーションの大切さや方法についても学んだ。
20		10月3日	働く人に話を聞く会(1年) ・地域の方々に協力いただき、働くことの大切さややりがい、意義について学習した。 ・ムネカタテック株式会社 福島看護専門学校 ・日本調理技術専門学校 郡山健康科学専門学校 ・今泉服飾専門学校 国際アート&デザイン大学校	12	12	生徒の職業観について考えを深めることができた。お話しした講師の職業と生徒が希望する職業とが必ずしも一致しない。生徒の意向すべてをかえざることはできないが、より多くの職種について触れられるよう人材発掘が必要である。
21	松川小学校	12月3・4日	松川地区小中学校あいさつ運動(1年) ・1年生が出身校に出向いて登校する小学生に挨拶をした。	-	-	出身校の小学生や教職員に成長した中学生の姿を見せる機会となった。自分たちのふだんの挨拶を振り返り積極的に挨拶しようという意識が高まった。日常的に活気ある元気な挨拶ができるよう今後も継続していきたい。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	松川小学校	6.2	3年3学級(総合)「まつかわと花案内人」の方から「あじさい祭り」について話を聞いた。	2	2	地域の方々のあじさいに対する思いを知り、郷土への理解が深まった。
2		7.5	5年2学級(体育)水泳指導	1	1	水の中での体の使い方や呼吸の仕方について理解し、技能の向上につながった。
3		8.29	特別支援学級2学級(自立活動)学習センター指導員を講師とし、シャボン玉・風の力で回るおもちゃ・浮沈子などを作って遊んだ。	1	1	簡単に作れて面白い動きをする工作を楽しむことができた。身の回りの事象に興味を持つことができた。
4		10.1	4年2学級(総合)「見つめよう松川の自然」県環境アドバイザーの堤先生を講師に水原川の生き物調べや水質調査を行った。	1	1	水原川の環境について考える機会となり、自分たちにもできることを考えるなど課題意識を持つことができた。
5		10.18	3年3学級(総合)「松川提灯祭り」の由来を知る方や運営に携わっている方から祭りの歴史や取り組みについて話を聞いた。	3	3	祭りの由来や運営についての話を聞き、積極的に関わろうとする意欲が高まった。
6		11.6	2年3学級(生活)「町たんけん」での松川学習センターの見学	2	2	公共施設の機能や働く人の役割を知るとともに館内で生き生きと活動されている地域の方々の様子から、自分たちも利用できる身近な施設であることを理解できた。
7		11.16~17	第65回松川地区文化祭展示作品出品 ・絵画・工作・書道作品	0	0	全学年から絵画・書道作品を出品。展示コーナーは来館者でにぎわい文化祭を盛り上げた。

8		11.18 11.25	5年2学級(家庭)ミシンを使ったランチョンマットの製作	8	16	ミシンの使い方をサポートしていただき、丁寧に縫うコツを学ぶことができた。
9	松川小学校	11.21	4年2学級(総合)「民話で広げよう!みんなの輪まつかわ民話の会の方々に来ていただき、松川の民話に触れるとともに「語り」にも挑戦した。	6	6	地域に伝わる民話に興味を持ち、さらには「語り」に挑戦しようとする意欲を高めることができた。
10		12.13	1年2学級(生活)まつかわ民話の会をはじめ地域ボランティアの方々との昔遊びでの交流	14	14	昔遊びの楽しさを味わい、地域ゲストとの触れ合いを持つことができた。
11	金谷川小学校	11.16~17	第65回松川地区文化祭展示作品出品 ・絵画・工作・書道作品	0	0	全学年から絵画・書道作品を出品。展示コーナーは来館者でにぎわい文化祭を盛り上げた。
12		7.2	3年(総合)「ごんべん参の会」の指導によるごんべん参の種まき	3	3	地域で取り組んでいるごんべん参について知るとともに、種まき体験を通して栽培・収穫への意欲を高めた。
13		10月2・9・11日	5年(家庭)ミシンを使ったエプロンの製作	7	11	丁寧な支援により、ミシン操作や作品作りをスムーズに進めることができた。
14		11.7	5年(総合)つるし雛作りの指導	4	4	ボランティアとの交流やつるし雛作り体験を通して、地域の伝統文化の大切さを感じることができた。
15	下川崎小学校	11.16~17	第65回松川地区文化祭展示作品出品 ・絵画・工作・書道作品	0	0	全学年から絵画・書道作品を出品。展示コーナーは来館者でにぎわい文化祭を盛り上げた。
16		12.9	2年(生活)松川支所・松川学習センター 図書館の見学	5	5	施設の見学や講話を通して公共施設の機能や働く人の役割について理解を深めることができた。
17		2.12	5年(音楽)和楽器(箏)の演奏体験及び生演奏の鑑賞	2	2	昨年の体験を生かしより和楽器に親しむことができた。箏とシンセサイザーのコラボによる「春の海」の生演奏を鑑賞することができた。
18		2.14	4年(音楽)和楽器(箏)の演奏体験及び生演奏の鑑賞	1	1	箏は1人1面ずつ用意。箏に直接触れたり音色に親しみ演奏したりすることができた。
19		11.16~17	第65回松川地区文化祭展示作品出品 ・絵画・工作・書道作品 ・美術部員による作品	0	0	全学年及び美術部から出品。展示コーナーは来館者でにぎわい文化祭を盛り上げた。美術部から個人の他に共同制作の大作も出品され関心を集めた。
20	松陵中学校	8.30~3.	特別支援学級1年7名(国語・数学)授業中の見守り ・授業内(国語・数学)における生徒の補助や支援 ・2学期ははじめから3学期終わりまで、水曜日・金曜日各1名の方に1日2時間担当いただいた。	2	50	・学習を見守っていただいたことにより、生徒が安心感をもって学習に取り組めた。 ・生徒は地域の方との触れ合いの機会を通してコミュニケーション能力の育成が図られた。 ・授業者としては、授業内での一人一人のみ見取りや学習指導の時間が増え、効果的であった。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	3
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○授業支援活動においては、学校の要望に応じて、ニーズに合ったゲストやボランティアをコーディネートすることができた。
○実施内容は継続のもの・新規のものがあり、ボランティアリスト外からも広くゲストを求めた。依頼には快く応えてくださる方が多い。
●ボランティア登録者の中には数年に渡って活動のない方も出てきている。
○事業の目的や運用について、学校と学習センターとの共通理解が進んだ感触を得ることができた。年度はじめに松川地区各校の令和5~6年度の実践(学校独自の実践・学習センターを通した実践)を一覧にしたものを提供した。
○本事業の周知のために学習センター運営審議会では毎回事業報告を行い、委員の皆さんにも周知へのご協力をお願いした。地区だよりに3回に渡って今年度の本事業の実践例を載せ、広く周知を図った。事業に協力いただいた地域の方々への感謝とともに、今後のお力添えを呼びかけた。
○学校からの依頼の中には事業の目的にかなっていないのか疑問のものもあったが統括本部から適切な助言をいただき望ましい形で実施できている。

5 活動、支援の様子



松川小1年「昔遊び」



松川小3年「松川提灯祭り」



松川小4年「水原川フィールドワーク」



松川小4年「民話語り」



下川崎小4・5年「和楽器(箏)」



松川小5年「水泳」



松川小・下川崎小5年「ミシン支援」



下川崎小5年「つるし雛」

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.14	信夫学習センター
対象校	鳥川小学校 大森小学校 平田小学校 平石小学校 信夫中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	鳥川小学校	6月～11月	○3年(2学級) リンゴ栽培学習	2	6	りんご作りのために果樹農家の方が工夫していることを理解した。
2		10月6日	○2年(2学級) 鳥川地区まち探検	18	18	児童の計画に沿って安全に活動することができた。
3		12月8日	○3年(2学級) リンゴジャムづくり	6	6	収穫したリンゴでジャムをつくり、食の大切さに気付くことができた。
4		2月14日	○3年(2学級) 矢吹邸見学	2	2	地域の名所や地区の様子を知り地域を大切にす気持ちを持つことができた。
5		2月19日	○3年(2学級) 観音寺見学	1	1	地域の名所や地区の様子を知り地域を大切にす気持ちを持つことができた。
6	大森小学校	8月29日	○3年(3学級) 消防団による授業	14	14	火事に対応するための地域の消防団の取り組みについて理解することができた。
7		11月25日	○4年(4学級) こけし絵付け体験補助	2	2	伝統工芸にとっても興味を持つことができた。
8	平田小学校	5月16日	○プール清掃	6	6	ボランティアの協力により、効率よく作業することができた。
9		5月～2月	○全学年 読書ボランティア読み聞かせ	8	29	読書活動の推進・読書活動の育成に大いに成果があった。
10		6月14日	○4, 5年(2学級)総合(地域防災)	1	1	自然災害についての説明していただき、児童の関心を高めることができた。
11		6月～9月	○学校図書館環境整備	2	4	教職員だけでは作業しきれない部分を、効率よく補助していただいた。
12		6月27日	○3年(1学級)社会科桃農家見学	1	1	作業の様子を見学し、農作業の工夫について質問したりして、理解を深めた。
13		7月17日 12月11日	○6年(1学級)総合学校周辺ゴミ拾い	3	4	ボランティアの分担引率により、児童の計画に沿った活動を行うことができた。
14		8月14日	○平田夏祭り			地域実行委員会との連携により、盛大に開催することができた。
15		9月3日	○3年(1学級)社会科 稲刈り見学	1	1	作業の様子を見学し、農作業の工夫について質問したりして、理解を深めた。
16		10月3日	○6年(1学級)家庭科 ミシン学習補助	1	1	ミシンの調整や不具合の対応等担任だけでは対応できない部分を補助していただいた。
17		11月1日	○1, 2年(1学級)生活科 チューリップ球根植え	4	4	交通安全母の会と協力し、チューリップ球根植えを通して交通安全への意識を高めた。
18	平石小学校	5月8日	○全学年(3学級)田植え体験	4	4	稲の育ち方や泥の感覚等について理解したり体感したりすることができた。
19		6月5日 11月11日	○3・4年(1学級)リンゴ果樹園栽培・出荷体験	1	3	平石の気候とリンゴの育て方の工夫や苦労について学ぶことができた。
20		6月5日	○全学年(3学級)学校畑での野菜栽培体験	1	3	畑の世話をする大変さややりがいについて、理解したり体感したりした。
21		9月9日	○全学年(3学級)お年寄り交流会	7	7	昔遊び等を通して、誰に対しても相手の気持ちを考えて接する児童が増えた。
22		9月27日	○全学年(3学級)稲刈り体験	4	4	稲の育ち方や稲を刈る感覚等について理解したり体感したりすることができた。
23		11月9日	○全学年(3学級)野菜と米の収穫と調理	5	5	学習ボランティアとの交流を通して、感謝の気持ちを主体的に伝えることができた。
24		11月21日	○3・4年(1学級)ため池見学・ため池の役割や利用方法の学習	2	2	平石地区のため池が農業にどのように役立っているのか見学し理解を深めた。
25	信夫中学校	6月24～28日	○2年「中学生ドリームアップ事業」職場体験学習	2	2	学習センターでの活動を通し、地域に貢献することの大切さを学んだ。
26		11月9日	○「城山ふれあい広場」ボランティア	4	4	ボランティア活動を通し、地域に貢献する楽しさを感じた。
27		12月14日	○「城山ふれあい広場」ボランティア	4	4	ボランティア活動を通し、地域の方々と一緒に季節の行事を学んだ。
28		1月18日	○「城山ふれあい広場」ボランティア	6	6	吉井小学校で英語教師を勤めるダニエルさんと英語のゲームを行った。
29		3月15日	○「城山ふれあい広場」ボランティア			

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	鳥川小学校	3月3日	○6年生(2学級) 茶道・お琴・歴史教室	11	11	茶道とお琴の演奏体験を通し、日本の伝統文化を学んだ。
2	大森小学校	6月25日	○1年(4学級) 生活科、花の苗植え	3	3	学校の要望に応じボランティアをコーディネートできた。
3		9月～10月	○5年(4学級) 家庭科、マシン実習	5	45	事前のマシンの調整や授業でのマシン操作の支援を行っていただいた。
4		9月～10月	○6年(4学級) 家庭科、マシン実習	3	20	事前のマシンの調整や授業でのマシン操作の支援を行っていただいた。
5		9月25日	○2年生(2学級) 学習センター訪問、施設見学	1	1	図書室や各部屋の説明を聞きながら見学することで、公共機関への理解を深めた。
6		9月26日	○2年生(2学級) 学習センター訪問、施設見学	1	1	図書室や各部屋の説明を聞きながら見学することで、公共機関への理解を深めた。
7		10月10日	○2年(4学級) 大森地区町たんけん	5	5	ボランティアの協力により、教員だけでは行き届かないところを支援していただいた。
8		1月29日	○3年(3学級) 生活科 昔の道具と生活	6	6	昔の道具に興味関心をもち、説明や体験を通して学ぶ姿が見られた。
9		2月6日	○6年(4学級) 家庭科、マシン調整	7	7	卒業作品制作のため、下糸やマシンの調整・点検を行っていただいた。
10		3月6日	○1年(4学級) 生活科 昔遊び	12	12	
11		平田小学校	12月5日	○2年生(1学級) 生活科 学習センター訪問、施設見学	2	2
12	平石小学校	6月6日	○教職員地域学習 平石地区の環境と歴史	2	2	教職員が地域の学習をすることによって、地域への理解を深めた。
13		10月3日	○5・6年(1学級) 平石地区の歴史と史跡巡り	3	3	平石の歴史を学び、地域をどのように活性化していくか考えることができた。
14		11月18日	○6年生(1学級) 茶道・お琴体験教室	7	7	日本文化に触れることで、児童一人一人の歴史や文化の理解が深まった。
15	信夫中学校	10月21日	○吹奏楽部 学習センター文化祭 開会式演奏	23	23	地域の行事に参加し、地域の一員として誇りをもって演奏した。
16		10月21日	○美術部 学習センター文化祭 作品展示	5	5	地域の行事に参加し、自分の作品を地域の方々に展示した。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

<p>○小学校では地域の方々の協力を得て、学校独自の地域学校協働活動事業を数多く実施している。時に小規模校ではその傾向が強い。</p> <p>○大規模校からのボランティアコーディネートの依頼が増えた。</p> <p>○学校支援ボランティアの方々が、学校への支援に快く応えて協力していただける。高齢者の方々にとっては、学校の役に立てることが嬉しいと感じている方が多い。</p> <p>●ボランティアの高齢化が進み、活動が継続できないケースが増えている。後継者もなかなか見つからない。</p> <p>●学校とボランティアの認識がかみ合わないことがある。ボランティアは日程調整するために数か月前から計画したいと考えているが、学校は学年ごとの授業計画等を1~2か月前に計画することも多く、時間的にかみ合わないことも多い。</p> <p>●学校の授業時間内に協力できるボランティアとなると、高齢者に限定されてしまうことも多い。しかし、学校のトイレや階段等高齢者に優しい環境になっていない場合が多い。</p> <p>※学校と学習センターとの打ち合わせをしっかりとつ必要がある。しかし、学校と学習センターの休日や勤務時間が違うため、なかなか時間が確保できないのが現状。</p>

令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.15	吾妻学習センター
対象校	野田小学校、庭坂小学校、庭塚小学校、水保小学校、野田中学校、吾妻中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	野田中学校	5月20日(月)	防犯教室(全校生) 情報モラル	1	1	福島警察の講師により、実例を映像で視聴し情報モラルについて学習した。SNSの問題を保護者対象に啓発する必要性を感じている。
2		8月26日(月) ～ 8月30日(金)	職場体験活動(2年)	42	172	近隣の中学校と同じ時期に数校が重なったので、希望の職種が少なくなった。
3		8月30日(金)	学校保健委員会(生徒会) 熱中症予防について具体的な内容を話し合い次年度への方向付けを行う。	2	13	学校、生徒、家庭それぞれが行う対策を共有できた。
4		9月24日(火) 10月7日(月) 10月10日(木) 10月16日(水)	幼稚園訪問(3年) 手作りのおもちゃを持参し、直接幼児と遊んだり話したりして体験した。	10	40	幼児と接する機会が少ない現状の中、直接ふれあうことで、言葉や動作の成長を見聞し、どのように接するべきかを深く考える機会となった。
5		10月23日(水)	社会人に学ぶ会(1年) 社会人から働く意義や責任を学ぶ	6	6	ラジオ福島、看護学校、地域の職業で働く人からの講話を通して、社会人としての責任や意義を理解することができた。
6		11月7日(木) 11月18日(月)	認知症サポーター養成講座(2年) 認知症の現状や原因を知り、その対応について考える。	5	20	認知症は脳の病気であり、対応により進行が早くなったり遅れたりすることを知り、地域に住む認知症の方への対処方法について学ぶことができた。
7		12月5日(木)	薬物乱用防止教室(2年) 薬物乱用が社会に及ぼす影響について話を聞いた。	1	10	薬物乱用がどういう意味を持つのかを知り、自分事として捉えることができた。
8		12月19日(木) 1月23日(木) 2月13日(木) 3月6日(木)	地域のあいさつ活性化運動(生徒会) 生徒会役員が登校時、野田小学校に出向いて小学生にあいさつをする。			自分たちのあいさつについて見直すきっかけとなった。
9		1月20日(月) 1月27日(月) 2月13日(木)	年金セミナー(3年29名×4学級) 年金の仕組みについて	2	8	年金の仕組みについて説明を受け社会人としての積み立てが老後につながることを知り、今後の生き方について考えるようになった。
10		年間	有価物回収(生徒会) 有価物回収で得た益金を活用し、花を植えたプランターを地域に配付	2	10	生徒会役員の年間を通して活動してきたことが、地域に還元され意義深いものとなった。
11	吾妻中学校	年間	梨の栽培学習(1年)	3	3	学校敷地内にある梨の栽培活動を通して、地域産業にふれるとともに、ふるさとへの思いを抱くことができた。
12	野田小学校	年間	図書ボランティア	20	100	司書と協力して書架の整理や破損修理などを行っていただき、図書環境を充実させることができた。
13		6月7日(金)	藤東ヨシ先生の昔話を聞く会(3年)	1	1	野田地区に伝わる昔話を聞き、地域に対する関心や愛郷心を高めることができた。
14		1・2学期	萱場梨の学習(4年)	1	4	萱場梨園での見学・体験を通して、地域の産業について学ぶことができた。
15		9月11日(水)	町探検(2年)	15	15	町探検を通して、地域に施設を知ったり地域の人々と交流することができた。
16		1月15日(水)	大原神社どんと祭りの学習(3年)	1	1	野田地区の大原神社どんと祭について話を聞き、地域について理解を深めることができた。
17		1月21日(火)	昔遊び(1年)	17	17	昔の遊びを教えてもらって遊び、地域の方と楽しく交流することができた。
18		6月12日(水)	梅の木公園探索(梅の種類を学ぶ)1年	2	2	自分たちの住む地区にある講演の魅力にふれ愛着をもたせることができた。
19	庭坂小学校	7月17日(水)	吾妻山の自然学習(4年)	8	8	吾妻山の植物など自然について学び、よさを再発見することができた。
20		10月17日(木)	庭坂まちたんけん(2年)	6	6	安全に気を付けながら町を探索し、自分たちの町の特徴やよさを発見することができた。
21		10月20日(日) 7日間	庭坂地区の歴史探訪(6年)	1	7	地域の特徴を詳しく教えてもらい、自分の住むふるさとの特徴やよさを再発見することができた。
22		年間	稲作体験(5年)	2	20	年間を通して米作りを体験するとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちをもつことはできた。さらに、地域の子ども食堂に作った米を寄付し、地域とかわる活動に発展させることができた。
23		6月4日(火)	認知症サポーター養成講座(5年)	5	5	認知症について分かりやすく丁寧に説明していただき、理解を深めることができた。
24		7月16日(火)	ふじの里訪問(5年)	2	2	実際に認知症の方とふれ合う機会を設けたことで、意識を高めることができた。
25	庭塚小学校	10月7日(月)	高齢者体験(5年)	5	5	高齢者の方の大変さを実際に体験することで理解が深まった。
26		10月15日(火)	高湯温泉「あったか湯、花月グランドホテル」見学(6年)	4	4	高湯温泉の歴史を聞いたり、源泉の見学、清掃、入浴体験をしたりすることで、温泉の魅力を感ずることができた。
27		11月20日(水)	ジャム作り(5年)	8	8	高齢者の方たちとふれ合いながらジャム作りをし、楽しく交流することができた。
28		11月21日(木)	土湯こけしの給付け体験(4年)	1	1	土湯こけしの歴史を知るとともに、給付け体験を通してこけし作りのよさや難しさを知ることができた。
29		1月30日(木)	スキー教室(3～6年)	10	10	冬山の自然を楽しむとともに、指導員の方の丁寧な指導により、スキーの技能を高めることができた。
30	水保小学校	4～11月 (計7回)	りんご農家についての調べ学習(3年)	1	7	7回にわたり、懇切丁寧に指導いただき、意識・理解が深まった。
31		6月5日(水)	茶道体験(6年)	8	8	丁寧な説明と体験により、茶道への理解が深まり、大変貴重な体験となった。
32		9月18日(水)	土船簡易水道施設見学(4年)	3	3	見学の支援をしていただき、郷土についての意識を高め、理解を深めることができた。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	野田中学校	10月27日(日)	地区文化祭(生徒会) 地域住民へ野田中学校の活動を紹介			資料をまとめたり、発表の場が与えられたりと、子どもたちにとってよい機会となった。
2	吾妻中学校	12月 4日(水)	職業人に聞く(1年)	5	5	5部門の職業に従事する講師の選定・依頼・内諾まで学習センターにお願ひし、働くことの意義や職業人としての生き方にふれることができた。
3	野田小学校	11月14日(木)	吾妻学習センター見学(2年)	1	1	学習センターと図書室を見学し、公共施設の利用について学ぶことができた。
4	庭坂小学校	10月 7日(木)	ミシン学習前のミシンの点検・調整	3	3	ミシンの調整と事前打合せを行っていただくことで、授業への見通しをもつことができた。
5		10月15日(木) 10月18日(火) 10月21日(月)	ミシン学習(5年)	3	9	個別に支援をしていただくことで、苦手な子どもも安心して製作活動に取り組むことができた。
6		11月19日(火) 11月20日(水) 11月27日(水) 12月10日(火)	ミシン学習(6年)	3	12	個別に支援をしていただくことで技能を向上させることができ、しっかりと製作活動に取り組むことができた。
7	庭塚小学校	9月26日(木)	ミシン学習前のミシンの点検・調整	2	2	学習前に全てのミシンの点検・調整をしていただいたことで、スムーズに授業に入ることができた。
8		10月10日(木) 10月22日(火)	ミシン学習(6年)	2 2	2 2	個別の対応により、児童のミシン操作技能が向上し、製作もスムーズに行うことができた。
9		10月17日(木) 10月31日(木)	ミシン学習(5年)	3 3	3 3	初めてのミシン学習で困っている児童に対して、個別に対応していただくことで自力で製作に取り組むことができた。
10	水保小学校	10月 9日(水) 10月16日(水)	ミシン学習(5・6年)	3 3	3 3	一人一人の技能に応じた丁寧・親切な支援により作品を完成させることができ、どの児童も達成感を感じる事ができた。

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

No.	項目	評価の観点、評定:(+)4→1(-)	評定
Q1	学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2	事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3	地域人材の活用	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4	地域と学校の連携協働	学校や地域団体のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	4
Q5	地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整・要望の把握・登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6	統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

- 学校の要請に応じたボランティアの派遣を行うことができた。さらに新たなボランティア(ミシン学習補助)も登録することができた。
- 中学校の要請により、「1学年の職業人に聞く」の講師発掘・依頼を行い、学校と地域と連携支援を行うことができた。
- 学習センター本館ロビーに「学校から地域へ発信コーナー(掲示パネル1~2枚)」の設置し活用を開始した。次年度は分館にも設置予定である。
- 地域人材の活用をはじめ地域とかわる活動が増えた学校が多く、各小中学校の本事業への理解と実践意識の高まりを感じている。
- 学校だけでなく、地域へも積極的に働きかけ、地域が学校に求めていること、子どもたちに参加してほしいことなどを把握し、学校へつなげていきたい。

5 活動、支援の様子

小学校ミシン学習



中学校「職業人に聞く」



令和6年度 地域学校協働本部事業実施報告書(兼)事業評価

No.16	飯野学習センター
対象校	飯野小学校、飯野中学校

1 学校でコーディネートし、実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯野小学校	5月17日(金)	栽培活動(6年・2学級・エレファントガーリック収穫)	5	5	エレファントガーリックと町おこしについて理解を深めることができました。
2		5月20日(月)	田んぼの学習(5年・1学級・田植え)	2	4	稲作についての理解を深めることができました。
3		6月7日(金)	地域学習(3年・1学級・飯野町伝統調べ)	1	1	地域の名所についての理解を深めることができました。
4		6月14日(金)	地域学習(3年・1学級・飯野町伝統調べ)	1	1	地域の名所についての理解と郷土愛を深めることができました。
5		9月9日(月)	地域学習(6年・2学級・飯野町民族資料館見学)	1	1	地域の歴史についての理解を深めることができました。
6		9月18日(水)	養蚕体験(4年・1学級・蚕様糸取り、絹糸を活用した小物づくり)	3	3	飼育した蚕様の糸を活用してミサンガなどの小物を作成することで、養蚕業への理解を深めることができました。
7		9月24日(火)	縄文土器作り(6年・2学級・縄文土器作り)	3	6	土器作りの体験を通して、縄文文化への理解を深めることができました。
8		9月26日(木)	地域学習(3年・1学級・伝統遊び)	1	1	地域の伝統についての理解を深めることができました。
9		10月15日(火)	田んぼの学習(5年・1学級・稲刈り)	2	4	稲作についての理解を深めることができました。
10		10月17日(木)	栽培活動(5年・1学級・エレファントガーリック植え付け)	5	5	エレファントガーリックと町おこしについて理解を深めることができました。
11		11月7日(木)	養蚕体験(4年・1学級・蚕様農家講話)	2	2	直接養蚕農家に話を聞くことで、養蚕業への理解が深まり、郷土愛を育むことができました。
12		11月8日(金)	田んぼの学習(5年・1学級・脱穀)	1	2	稲作についての理解を深めることができました。
13		11月8日(金)	野菜作り(2年・1学級・さつまいも収穫)	1	1	さつまいも作りについての理解を深めることができました。
14		11月10日(水)	地域学習(3年・1学級・お祭り太鼓体験)	5	5	地域の伝統についての理解を深めることができました。
15		11月18日(月)	地域学習(5年・1学級・伝統食づくり)	1	1	まゆ団子づくりを通して地域の伝統について理解を深めることができました。
16		11月22日(金)	縄文土器作り(6年・2学級・縄文土器野焼き)	3	6	土器作りの体験を通して、縄文文化への理解を深めることができました。
17		12月5日(木)	民話学習(2年・1学級・民話語り)	1	1	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができました。
18		12月11日(水)	民話学習(2年・1学級・民話語り)	2	2	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができました。
19		12月12日(木)	地域学習(6年・2学級・飯野町の歴史)	1	2	地域の歴史と産業について理解を深めることができました。
20		12月18日(水)	民話学習(2年・1学級・民話語り)	2	2	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができました。
21		1月10日(金)	昔遊び(1年・1学級・わらべ歌遊び)	1	1	伝統的な遊びについての理解を深めることができました。
22		1月15日(水)	民話学習(2年・1学級・民話練習)	2	2	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができました。
23		1月21日(火)	地域学習(3年・1学級・つるし雛づくり)	1	1	地域文化への理解を深めることができました。
24		2月6日(木)	民話学習(2年・1学級・民話練習)	2	2	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができました。
25		2月14日(金)	地域学習(3年・1学級・つるし雛づくり)	1	1	地域の伝統についての理解と郷土愛を深めることができました。
26		2月19日(水)	地域学習(3年・1学級・つるし雛づくり)	1	1	地域の伝統についての理解と郷土愛を深めることができました。
27		2月20日(木)	民話学習(2年・1学級・民話練習)	2	2	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができました。
28	飯野中学校	3月5日(水)	民話学習(2年・1学級・民話発表)	2	2	地域に伝わる民話についての理解と郷土愛を深めることができました。
29		9月13日(金)	小学5・6年生・中学1～3年生 小中一貫奉仕活動	170	170	小中学生が交流を図りながら、地域の美化活動に取り組むことができました。地域の方々から感謝の言葉をいただくこともあり、生徒にとっても地域にとっても意義のある活動であった。
30		7月28日(日)	ホコ天における演奏披露	15	15	暑い中ではあったが、吹奏楽曲4曲を演奏し、イベントを盛り上げた。
31		9月7日(土)	敬老会における演奏披露	8	8	吹奏楽曲3曲を第1部と第2部で演奏し、イベントを盛り上げた。
32		10月27日(日)	大宮神社例大祭における有志ボランティア	5	5	獅子などに扮して神輿行列に参加し、お祭りを盛り上げた。

33	飯野中学校	11月2日(土)	町文化祭への協力(文芸部)	7	7	文芸部での茶道体験で茶道講師 伊藤美千代先生にお世話になっている。飯野地区文化祭では茶道ブースで、文芸部員が伊藤先生のお手伝いを行い、地域の方々と交流を図ることもできた。
34		11月9日(土)	UFOフェスティバルにおける演奏披露及び有志ボランティア	13	13	有志ボランティアがごみステーションの案内をするなどして、運営に協力した。
35		2月21日(金)	写真展参加	14	14	1学期に部活動として写真の撮影の仕方について学んでいる。お世話になっている写友会の方々の飯野町学習センターでの展示会に、文芸部として、鑑賞シートをまとめながら参加予定である。

2 地域本部(学習センター)のコーディネートにより実施した地域学校協働活動

NO	学校名	実施月日	実施内容(学年・学級数・支援内容等)	ボランティア		成果・課題等
				実人数	延べ人数	
1	飯野小学校	11月14日(木)	将棋教室①(4~6年・クラブ活動・基本的な駒の動かし方と攻守方法について)	3	3	駒の動かし方を理解し、対局を楽しむことができた。
2		11月15日(金)	水墨画教室(6年・2学級・水墨画の基本的な筆の運び)	2	4	基本的な筆の運びを理解し、全員が作品を仕上げることができた。
3		11月21日(木)	将棋教室②(4~6年・クラブ活動・基本的な駒の動かし方と攻守方法について)	3	3	駒の動かし方を理解し、対局を楽しむことができた。
4		11月25日(月)	書き初め教室(4、6年・3学級・お手本に則り、基本的な筆の運びと字形の整え方について)	1	4	字形を整える要点を理解し、全員が作品を仕上げることができた。
5		11月26日(火)	書き初め教室(3、5年・2学級・お手本に則り、基本的な筆の運びと字形の整え方について)	1	2	字形を整える要点を理解し、全員が作品を仕上げることができた。
6		1月22日(水)	戦争体験を聞く(6年・2学級・戦時下の暮らしについて理解を深める)	1	1	戦時下の暮らしについて理解を深めることができた。
7		2月3日(月)	そろばん教室(3年・1学級・基本的な珠の動かし方)	1	1	基本的な珠の運びを理解し、簡単な加減計算を行うことができた。
8	飯野小・飯野中	9月13日(金)	小中合同奉仕作業(小5、小6、中1、中2、中3 7学級)縦割り18班による地域の清掃活動	約10名	約10名	地域の環境保全について関心を高めることができた。
9	飯野中学校	5月27日(月)	文芸部1~3年 写真撮影の指導 講師:いいの写友会 高橋静夫	1	1	3年生を中心に一眼レフカメラを使った撮影の指導をいただき、撮った作品は松桜祭・飯野町文化祭で展示することができた。
10		6月7日(金)	文芸部1~3年 ちまきづくりの指導 講師:斉藤明子 大野幸子 本田幸夫	3	3	行事食を学ぶ目的で実施した。振り返りからは伝統的な食文化への理解が深まったことが分かった。
11		6月19日(水)	1学年 総合的な学習の時間における「地域の職業人に聞く会」 講師:久能 孝幸(福島市役所飯野支所 次長)	1	1	働く意義や価値観、職種によって求められる能力や今の自分たちに必要なことなどについて直接話を聞くことで、生徒が自分の将来について考える契機となった。
12		7月4日(木)	1学年 総合的な学習の時間における「地域の職業人に聞く会」 講師:久能 均((株)NITTOKU 専務取締役)、斎藤 利洋((株)NITTOKU 生産支援部生産管理室 室長)、橋本 隆(橋本隆事務所 所長)	3	3	
13		7月4日(木)	1学年 総合的な学習の時間における「地域の職業人に聞く会」 講師:渡邊 浩志(靴職人)	1	1	
14		7月10日(水)	1学年 総合的な学習の時間における「地域の職業人に聞く会」 講師:高橋 めぐみ(y's companyローソン川俣鶴沢店 店長)	1	1	

3 地域学校協働本部(学習センター)事業評価

項目	評価の観点、評定:(+)4~1(-)	評定
Q1 学校との連携	本事業の目的が学習センターと学校間で共通理解が図られたか。	4
Q2 事業の周知	地域に本事業の趣旨が周知されたか。	4
Q3 学校との連携協働	学校のニーズに応じて学校支援活動のコーディネートができたか。	4
Q4 地域との連携協働	地域団体等のニーズに応じて学校協働活動のコーディネートができたか。	3
Q5 地域本部の業務	地域本部(学習センター)としての業務(連絡・調整、要望の把握、登録等)がスムーズに行われたか。	4
Q6 統括本部の業務	統括本部(生涯学習課)の業務内容(企画・運営・助言等)は適切であったか。	4

4 成果と課題等(○成果 ●課題 ※改善策等)

○ 地域の学校から学習センターに要望が出されることが多くなり、年間計画以外の協力もできた。また、地域の団体から中学生の参加呼びかけがあり、交流を深めることができる。少しずつではあるが、地域と学校のつながりが広がってきている。

● 年々、地域ボランティアの方々の高齢化が進んでいる。現在ボランティアで活動している方々は、地域貢献という意識が高く、長い間ボランティアを続けている。

その分、新たなボランティアが入り込む隙間がなく、人材を育てて来なかったため、後継者を探すことは非常に難しい。

※ 高齢化による人材不足を解消するためには、人材を探すというよりも新しい人材を育てていくことが必要になってくる。一緒に活動する中で自然な形でバトンタッチできるように支援したい。



福島市